

藤沢市
介護保険サービス利用者調査
報告書

令和8年3月

藤 沢 市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	2
2. 調査対象及び調査方法	2
3. 回収状況	2
4. 調査項目	2
5. 調査結果を見る上での注意事項	2
第2章 利用者調査結果の詳細	7
1. 家族や生活状況について	8
（1）調査票の回答者	8
（2）性別	8
（3）年齢	9
（4）介護度	10
（5）居住地区	12
（6）世帯構成	13
（7）経済的な暮らしの状況	15
（8）現在治療中、後遺症の病気	17
（9）かかりつけ医師、歯科医師、薬局の有無	19
2. 介護保険サービスについて	20
（1）介護保険サービス利用の有無	20
（2）介護保険サービスを利用していない理由	22
（3）介護保険サービスの利用状況と満足度	24
（4）介護サービスの満足度	25
（5）ケアプランに対する満足度	25
（6）今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス	26
（7）介護保険料額の負担感	28
（8）利用者負担額の負担感	28
（9）今後の介護保険とサービスのあり方	29
3. 本人やご家族の状況について	30
（1）介護・介助の必要性	30
（2）主な介護者	32
（3）主な介護者の年齢	34
（4）主な介護者の就労状況	36
（5）主な介護者の就労頻度	38
（6）主な介護者の就労形態	40
（7）仕事と介護の両立	42
（8）仕事と介護の両立に効果的な勤め先からの支援	44
（9）市へ最も望む支援	46
（10）自由意見	48

4. 認知症施策について 51

 (1) 認知症の症状がある人の有無51

 (2) 認知症に関する相談窓口の認知53

 (3) 認知症の方に対する重点的施策55

5. 利用者調査結果の概要 57

6. 個別考察 58

 (1) 家族や生活状況について58

 (2) 介護保険サービスについて58

 (3) 本人やご家族の状況について59

 (4) 認知症施策について59

7. 全体考察 59

8. 必要と考えられる支援・改善すべきサービス..... 60

資料編 利用者調査票 61

第 1 章 調査の概要

1. 調査実施の目的

介護保険事業は、3年ごとに介護保険事業計画の見直しが行われているが、計画策定に向けた基礎資料の整備は、介護サービスの質の向上とそのニーズを的確に把握するうえで必要不可欠である。

このことから、市内13生活圏域における要支援・要介護認定を受けている方を対象として、介護保険について「どのような認識や要望をもっているのか」「サービス利用に際して問題が生じていないか」などの実態調査を実施するものである。

この調査結果は、前回の調査結果との比較及び分析を行い、次期サービスを提供する事業者に対して利用者ニーズの適切な情報提供等を図ることを目的とする。

2. 調査対象及び調査方法

利用者調査

調査対象	要介護（要支援）認定者のうち、介護保険施設入所者を除く被保険者の中から、13生活圏域ごとに、3,000人を原則無作為に抽出
調査方法	郵送による発送・回収
調査期間	令和7年10月3日(金)～10月31日(金)

3. 回収状況

利用者調査

配布数	回収数	回収率
3,000人	2,071人	69.0%

4. 調査項目

利用者調査

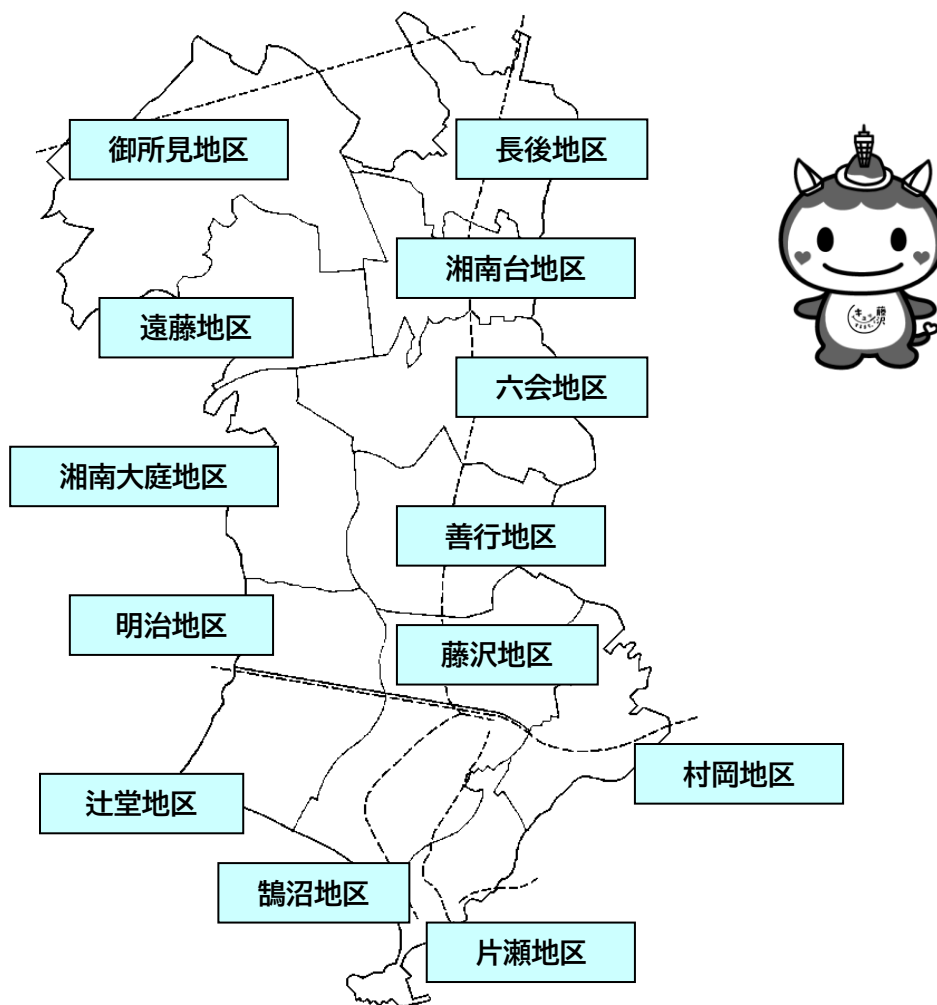
- ・本人や家族の状況について
- ・介護保険サービスについて
- ・介護における相談などについて
- ・介護予防などの事業について
- ・主な介護者の方について

5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（％）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、％を足し合わせて100％にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、％の合計が100％を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

- ・報告書に掲載されている用語は次の通りである。
- ・経年比較で「前回」とあるのは、『藤沢市介護保険サービス利用状況調査報告書（令和5年3月）』の調査結果のことである。

【日常生活圏域別】



掲載の 地区名	左記に該当する地区
御所見	用田・葛原・菖蒲沢・打戻・瀬郷・宮原
長後	長後・高倉・下土棚
遠藤	石川5～6丁目・石川の一部・遠藤の一部
湘南台	今田の一部・円行の一部・円行1丁目の一部・円行2丁目・石川の一部・桐原町・湘南台1～7丁目・土棚
六会	亀井野の一部・亀井野1～4丁目・今田の一部・円行の一部・円行1丁目の一部・石川の一部・石川1～4丁目・西俣野の一部・天神町1～3丁目・遠藤の一部
湘南 大庭	大庭の一部・石川の一部・遠藤の一部
善行	藤沢（北）・善行1～7丁目・本藤沢1～7丁目・善行団地・立石1～4丁目・花の木・みその台・善行坂1～2丁目・白旗1～4丁目・大庭の一部・稲荷・稲荷1丁目・亀井野の一部・西俣野の一部
明治	辻堂神台1～2丁目、辻堂新町1～4丁目・羽鳥1～5丁目・城南1～5丁目
藤沢	朝日町・藤沢（南）・藤沢1～5丁目・本町1～4丁目・鵜沼の一部・鵜沼神明1～5丁目・西富・西富1～2丁目・大鋸・大鋸1～3丁目・藤が岡1～3丁目
村岡	弥勒寺・弥勒寺1～4丁目・宮前・小塚・高谷・渡内・渡内1～4丁目・柄沢・村岡東1～4丁目・川名・川名1～2丁目
辻堂	辻堂1～6丁目・辻堂元町1～6丁目、辻堂太平台1～2丁目・辻堂東海岸1～4丁目・辻堂西海岸1～3丁目
鵜沼	鵜沼の一部・南藤沢・鵜沼東・鵜沼海岸1～7丁目・鵜沼松が岡1～5丁目・鵜沼桜が岡1～4丁目・鵜沼藤が谷1～4丁目・本鵜沼1～5丁目・鵜沼花沢町・鵜沼橘1～2丁目・鵜沼石上1～3丁目・片瀬
片瀬	片瀬1～5丁目・片瀬海岸1～3丁目・片瀬山1～5丁目・片瀬目白山・江の島1～2丁目

第1章 調査の概要

※利用者調査における区分

【被介護者の年齢別】

掲載の区分名	左記に該当する区分説明
40～64歳	問2 ②年齢で「40～64歳」
65～74歳	問2 ②年齢で「65～69歳」「70～74歳」のいずれか
75～84歳	問2 ②年齢で「75～79歳」「80～84歳」のいずれか
85歳以上	問2 ②年齢で「85～89歳」「90～94歳」「95～99歳」「100歳以上」のいずれか

【性年齢別】

掲載の区分名	左記に該当する区分説明
男性	問2 ①性別で「男性」
女性	問2 ①性別で「女性」

×

掲載の区分名	左記に該当する区分説明
40～64歳	問2 ②年齢で「40～64歳」
65～74歳	問2 ②年齢で「65～69歳」「70～74歳」のいずれか
75～84歳	問2 ②年齢で「75～79歳」「80～84歳」のいずれか
85歳以上	問2 ②年齢で「85～89歳」「90～94歳」「95～99歳」「100歳以上」のいずれか

【被介護者の要介護度別】

掲載の区分名	左記に該当する区分説明
軽度	問3 介護度で「要支援1」「要支援2」のいずれか
中度	問3 介護度で「要介護1」「要介護2」のいずれか
重度	問3 介護度で「要介護3」「要介護4」「要介護5」のいずれか

【主介護者の年齢別】

掲載の区分名	左記に該当する区分説明
29歳以下	問20 主介護者の年齢で「18歳未満」「18歳以上～29歳以下」のいずれか
30代～60代	問20 主介護者の年齢で「30代～60代」
70歳以上	問20 主介護者の年齢で「70代」「80歳以上」のいずれか

第2章 利用者調査結果の詳細

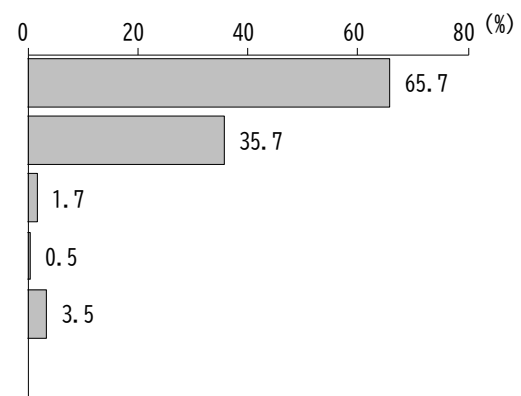
1. 家族や生活状況について

(1) 調査票の回答者

問1 現在、この調査票にご回答をいただいているのは、どなたですか。(複数回答可)

調査票の回答者は、「あなた本人」が65.7%、「主な介護者となっている家族・親族」が35.7%となっている。

	基数	構成比
あなた本人	1,361	65.7%
主な介護者となっている家族・親族	740	35.7%
主な介護者以外の家族・親族	35	1.7%
その他	10	0.5%
無回答	73	3.5%
全 体	2,219	100.0%



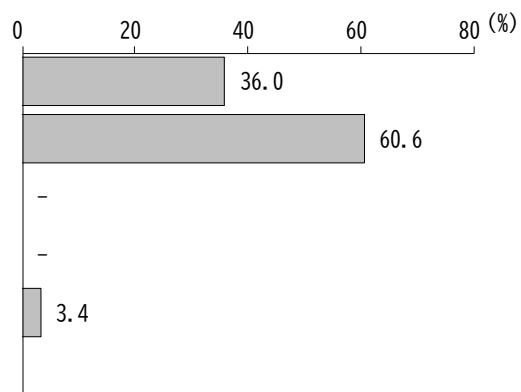
※複数選択のため、構成比の合計は100%を超える

(2) 性別

問2 ①あなた本人の性別についてご回答ください。(1つだけ○印)

性別は、「男性」が36.0%、「女性」が60.6%となっている。

	基数	構成比
男性	746	36.0%
女性	1,254	60.6%
その他	-	-
回答しない	-	-
無回答	71	3.4%
全 体	2,071	100.0%

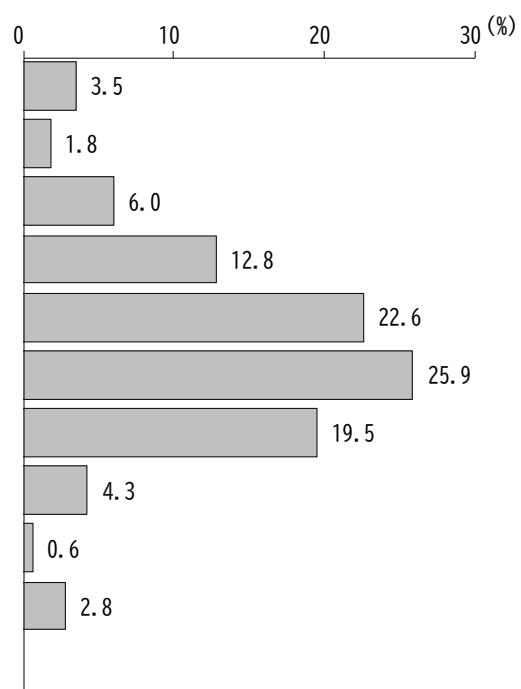


(3) 年齢

問2 ②あなた本人の年齢は何歳ですか（令和7年10月1日時点の満年齢）。
（1つだけ○印）

年齢は、「85～89歳」が25.9%で最も多く、次いで「80～84歳」が22.6%、「90～94歳」が19.5%、「75～79歳」が12.8%となっている。

	基数	構成比
40～64歳	72	3.5%
65～69歳	38	1.8%
70～74歳	125	6.0%
75～79歳	266	12.8%
80～84歳	468	22.6%
85～89歳	537	25.9%
90～94歳	403	19.5%
95～99歳	90	4.3%
100歳以上	13	0.6%
無回答	59	2.8%
全 体	2,071	100.0%



第2章 利用者調査結果の詳細

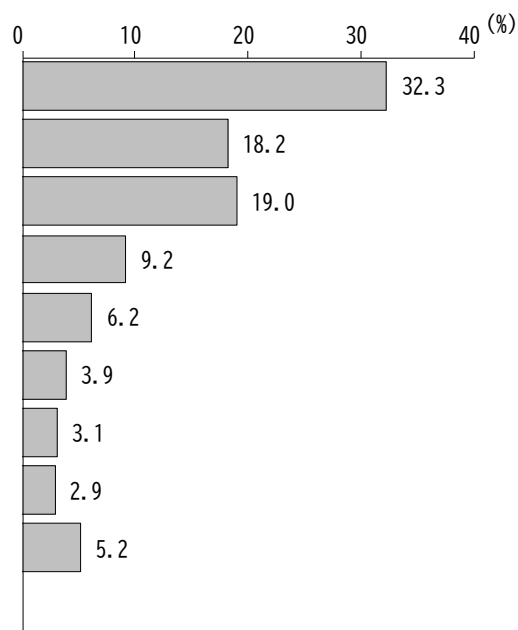
(4) 介護度

問3 あなた本人が現在認定されている介護度をご回答ください。(1つだけ○印)

介護度は、「要支援1」が32.3%で最も多く、次いで「要介護1」が19.0%、「要支援2」が18.2%となっている。

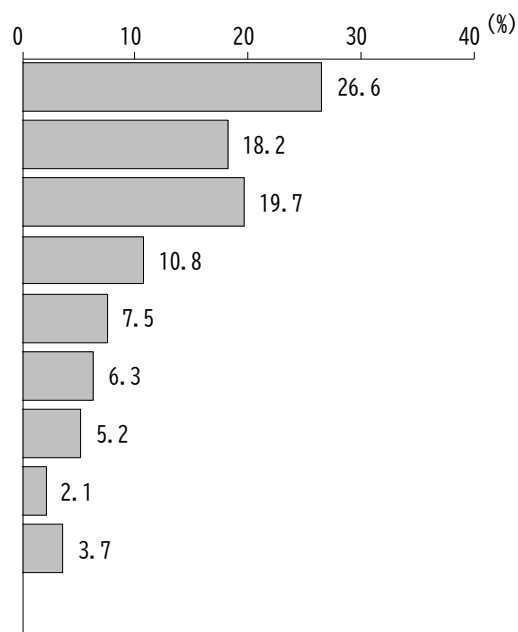
前回調査と比較すると、「要支援1」が5.7ポイント増加している。

	基数	構成比
要支援1	669	32.3%
要支援2	377	18.2%
要介護1	393	19.0%
要介護2	191	9.2%
要介護3	129	6.2%
要介護4	81	3.9%
要介護5	64	3.1%
わからない	60	2.9%
無回答	107	5.2%
全 体	2,071	100.0%



○前回の調査結果

	基数	構成比
要支援1	538	26.6%
要支援2	368	18.2%
要介護1	398	19.7%
要介護2	218	10.8%
要介護3	152	7.5%
要介護4	128	6.3%
要介護5	106	5.2%
わからない	42	2.1%
無回答	74	3.7%
全 体	2,024	100.0%



年齢別でみると、「要支援1」は『女性75～84歳』で40.7%と最も多くなっている。

世帯構成別でみると、「要支援1」は『ひとり暮らし』で44.0%、『夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）』で34.8%、『子と同居』で27.1%、『子ども夫婦との2世帯』で29.5%と最も多くなっている。

○介護度／性年齢別、被介護者の要介護度別、世帯構成別

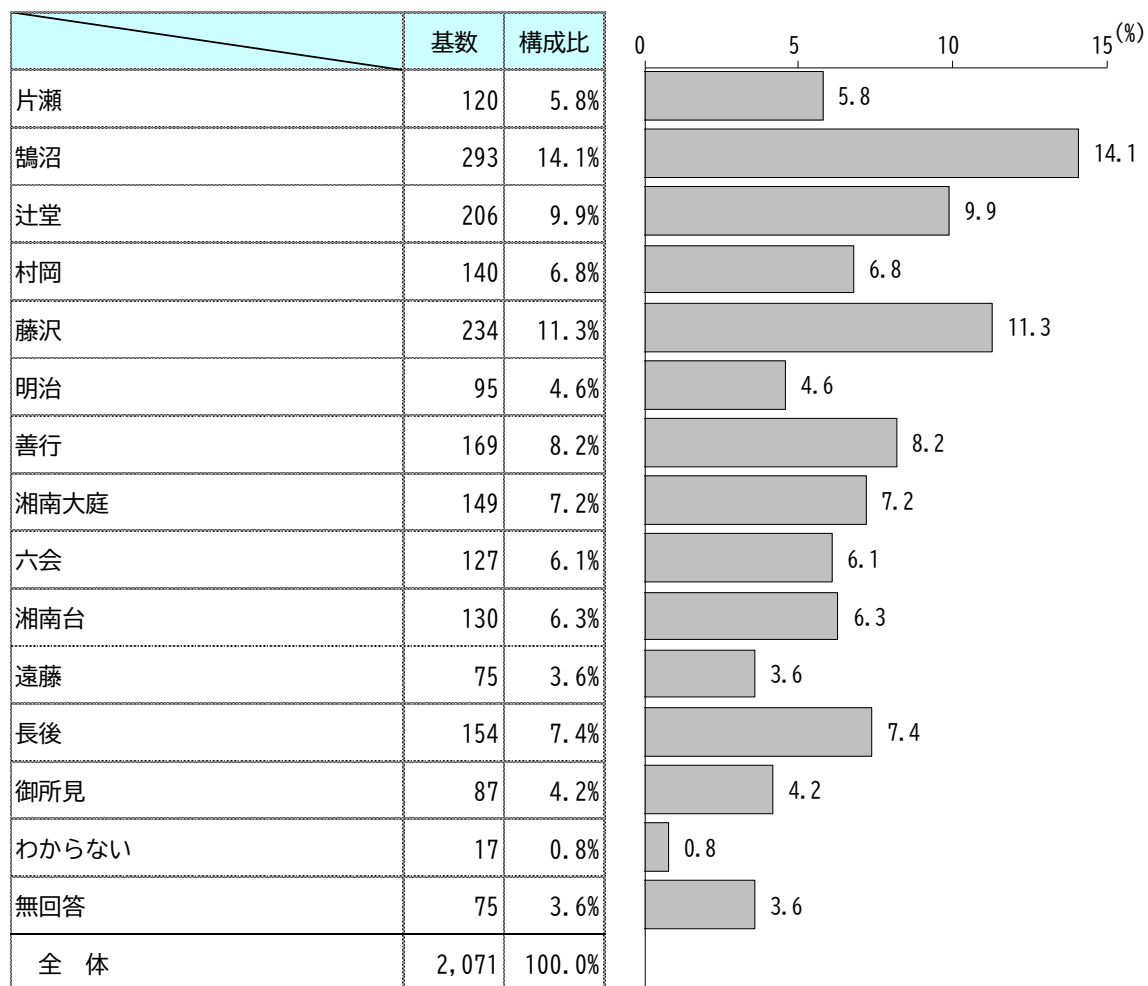
	調査数 (件)	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	わからない	無回答
全 体	2,071	32.3	18.2	19.0	9.2	6.2	3.9	3.1	2.9	5.2
性年齢別										
男性 40～64歳	33	6.1	15.2	27.3	9.1	18.2	6.1	6.1	6.1	6.1
男性 65～74歳	66	24.2	16.7	27.3	9.1	10.6	4.5	3.0	0.0	4.5
男性 75～84歳	281	31.7	18.9	19.9	7.5	7.5	5.0	3.9	2.8	2.8
男性 85歳以上	366	32.8	16.9	17.2	13.1	6.0	3.3	2.5	4.9	3.3
女性 40～64歳	39	20.5	15.4	25.6	7.7	7.7	10.3	10.3	2.6	0.0
女性 65～74歳	94	40.4	17.0	17.0	8.5	6.4	1.1	2.1	5.3	2.1
女性 75～84歳	450	40.7	18.4	18.0	8.9	4.9	2.2	2.7	2.4	1.8
女性 85歳以上	668	31.1	20.5	20.5	9.0	6.3	5.1	3.3	2.1	2.1
被介護者の要介護度別										
軽度	1,046	64.0	36.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中度	584	0.0	0.0	67.3	32.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重度	274	0.0	0.0	0.0	0.0	47.1	29.6	23.4	0.0	0.0
わからない	60	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
世帯構成別										
ひとり暮らし	525	44.0	22.7	17.0	6.9	3.0	1.5	0.2	3.0	1.7
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	620	34.8	17.1	19.2	10.5	6.8	2.4	2.9	3.2	3.1
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	41	19.5	22.0	34.1	4.9	7.3	7.3	2.4	0.0	2.4
子と同居	414	27.1	17.9	20.5	11.1	7.2	7.7	4.3	2.7	1.4
子ども夫婦との2世帯	207	29.5	18.4	19.8	8.2	8.2	4.3	5.3	3.4	2.9
兄弟や姉妹	20	15.0	30.0	25.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
その他	180	19.4	13.3	21.7	13.3	10.6	7.2	7.2	2.8	4.4

第2章 利用者調査結果の詳細

(5) 居住地区

問4 あなた本人のお住まいの地区についてご回答ください。(1つだけ○印)

居住地区は、「鵜沼」が14.1%で最も多く、次いで「藤沢」が11.3%、「辻堂」が9.9%となっている。



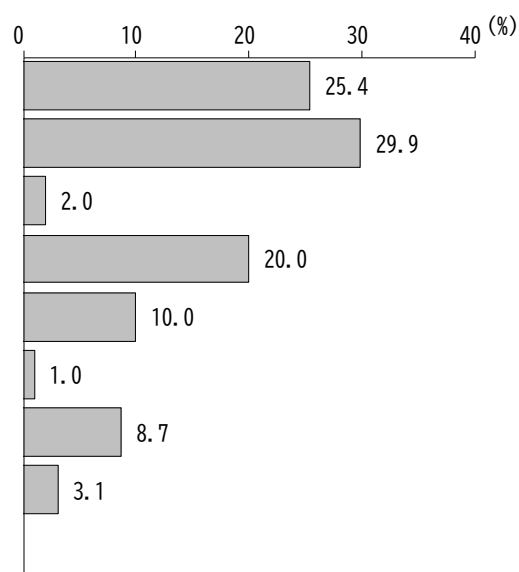
(6) 世帯構成

問5 あなた本人は、どなたと一緒に暮らしていますか。(1つだけ○印)

世帯構成は、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が29.9%と最も多く、次いで「ひとり暮らし」が25.4%、「子と同居」が20.0%となっている。

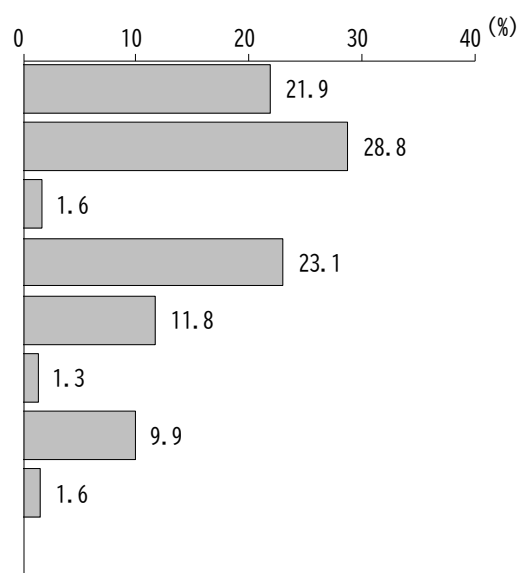
前回調査と比較すると、「ひとり暮らし」が3.5ポイント増加し、「子と同居」が3.1ポイント減少している。

	基数	構成比
ひとり暮らし	525	25.4%
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	620	29.9%
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	41	2.0%
子と同居	414	20.0%
子ども夫婦との2世帯	207	10.0%
兄弟や姉妹	20	1.0%
その他	180	8.7%
無回答	64	3.1%
全 体	2,071	100.0%



○前回の調査結果

	基数	構成比
ひとり暮らし	444	21.9%
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	583	28.8%
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	33	1.6%
子と同居	467	23.1%
子ども夫婦との2世帯	238	11.8%
兄弟や姉妹	26	1.3%
その他	201	9.9%
無回答	32	1.6%
全 体	2,024	100.0%

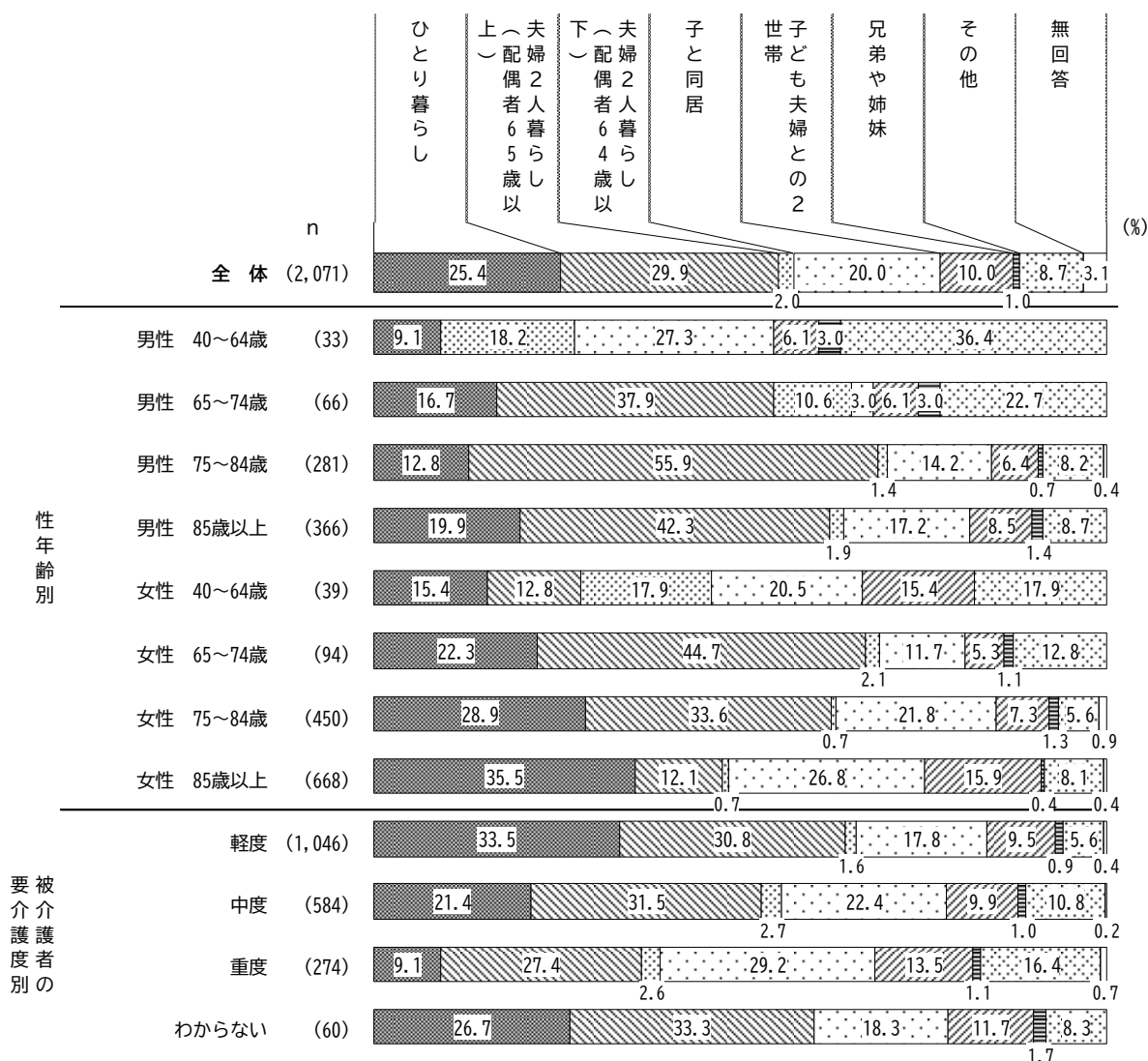


第2章 利用者調査結果の詳細

性年齢別でみると、『男性75～84歳』では「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が55.9%で最も多くなっている。また、『女性40～64歳』では「子と同居」が20.5%で最も多くなっている。

被介護者の要介護度別でみると、介護度が重くなるにつれて、「ひとり暮らし」の割合は少なくなっている。

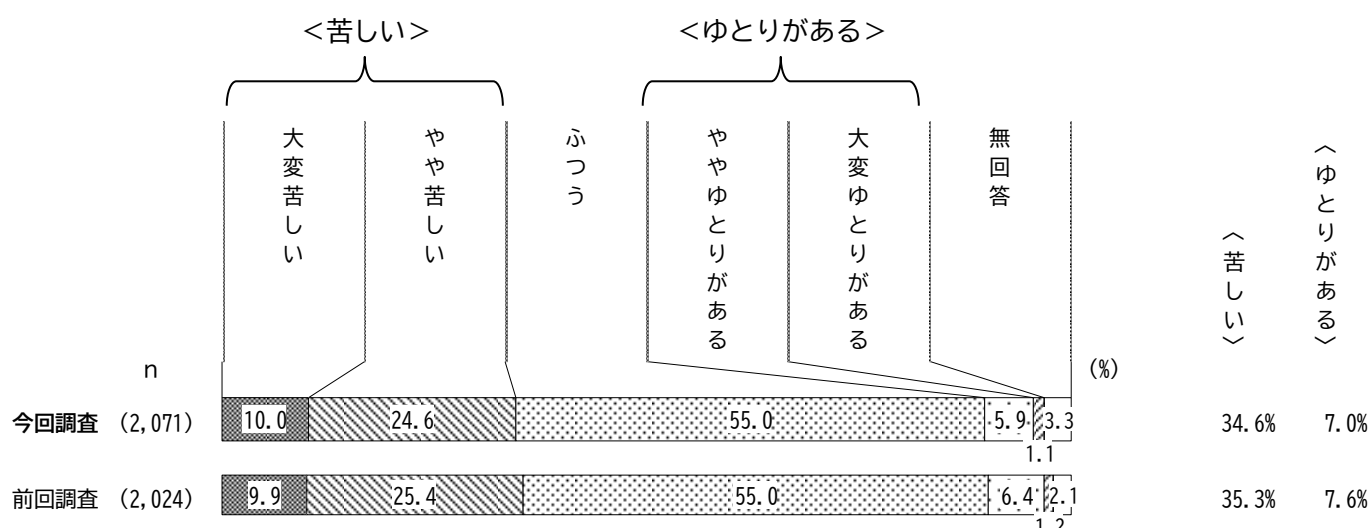
○世帯構成／性年齢別、被介護者の要介護度別



(7) 経済的な暮らしの状況

問6 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ○印)

経済的な暮らしの状況は、「ふつう」が55.0%と最も多く、次いで「やや苦しい」が24.6%となっている。合計した数値でみると、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた<苦しい>割合が34.6%、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」を合わせた<ゆとりがある>割合が7.0%であった。



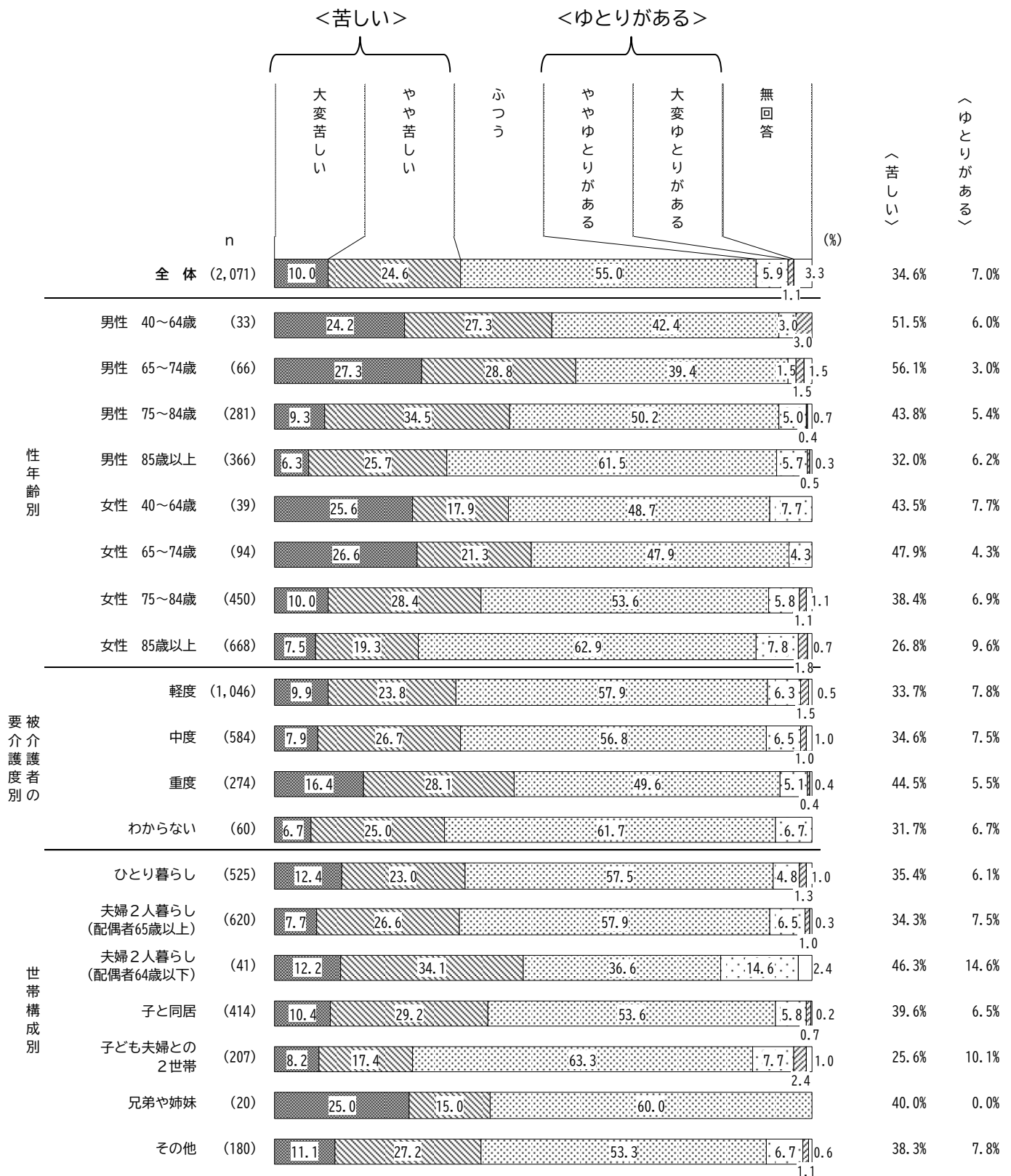
性年齢別でみると、<苦しい>割合は『男性65～74歳』が56.1%と最も多くなっている。

被介護者の要介護度別でみると、<苦しい>割合は『軽度』が33.7%、『中度』が34.6%、『重度』が44.5%と介護度が重いほど多くなっている。

世帯構成別でみると、<苦しい>割合は『夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）』が46.3%と最も多くなっている。

第2章 利用者調査結果の詳細

○経済的な状況／性年齢別、被介護者の要介護度別、世帯構成別

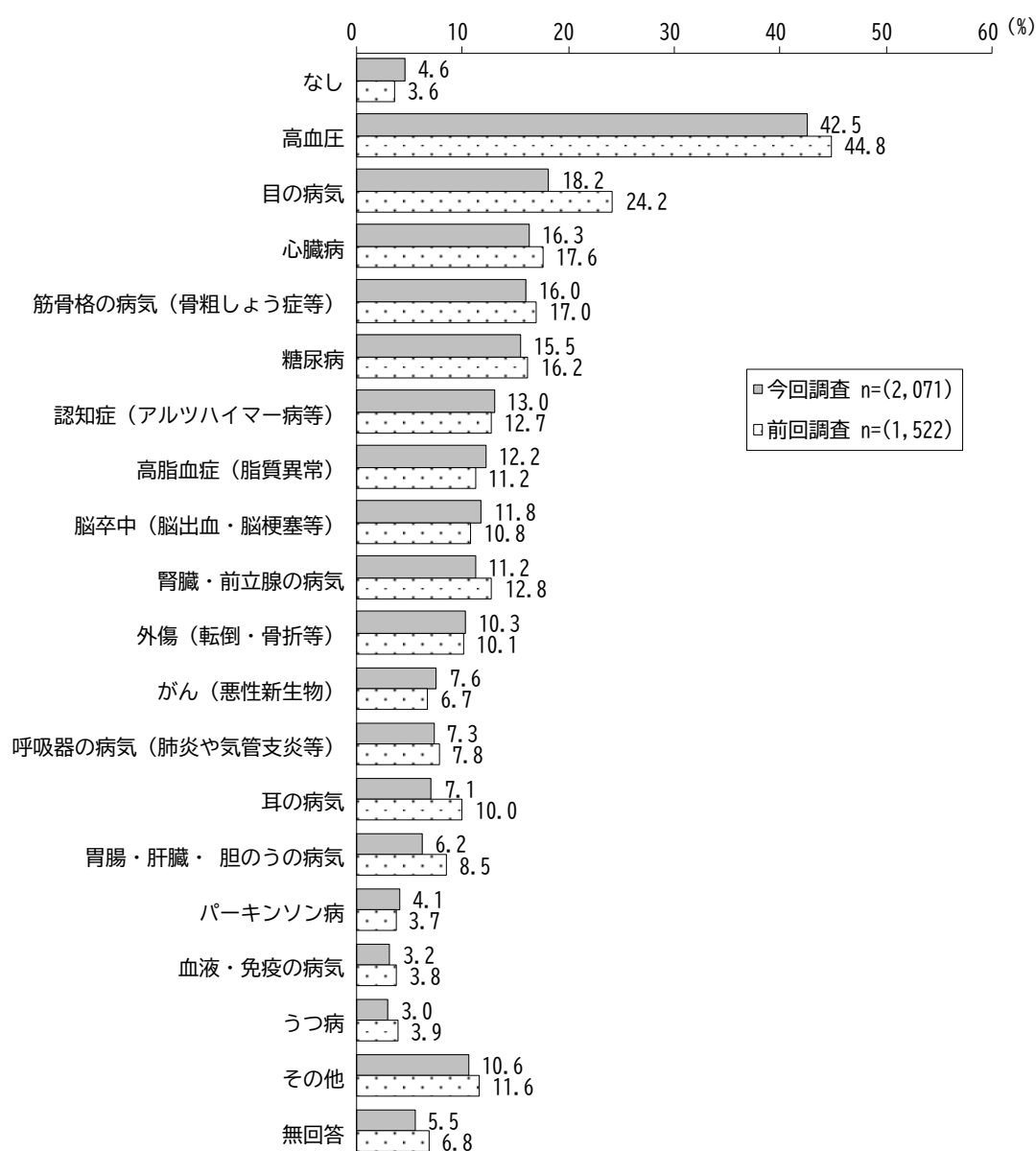


(8) 現在治療中、後遺症の病気

問7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(複数回答可)

現在治療中、または後遺症のある病気は、「高血圧」が42.5%と最も多く、以下「目の病気」が18.2%、「心臓病」が16.3%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症等）」が16.0%と続いている。一方、「なし」は4.6%であった。

前回調査と比較すると、「目の病気」が6.0ポイント低くなっている。



性年齢別でみると、男性では「高血圧」が最も多く3割～5割以上となっており、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」は男女とも年齢が若いほど多くなっている。

被介護者の要介護度別でみると、「認知症（アルツハイマー病等）」および「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」は介護度が重いほど多くなっている。

第2章 利用者調査結果の詳細

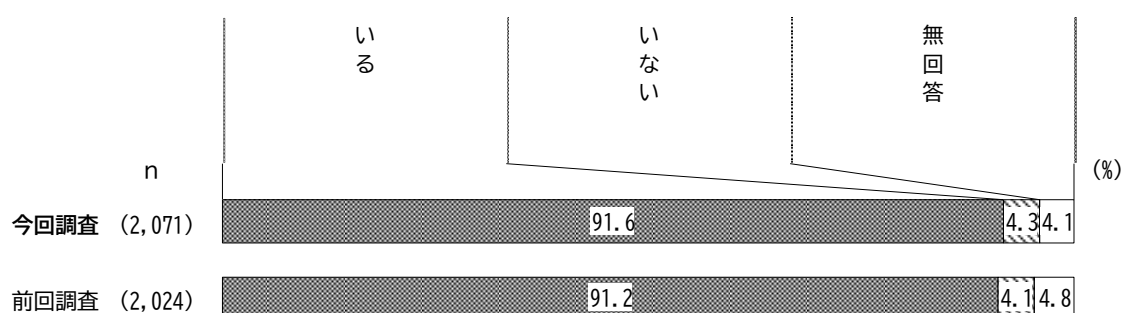
○現在治療中、後遺症の病気／性年齢別、被介護者の要介護度別、世帯構成別

	調査数 (件)	なし	高血 圧	目 の 病 気	心 臓 病	筋 骨 格 の 病 気 (骨粗 しょう 症等)	糖 尿 病	マ ー 認 知 症 (アル ツ ハ イ 病等)	高 脂 血 症 (脂質異 常)	脳 卒 中 (脳出 血・脳 梗塞等)	腎 臓 ・ 前 立 腺 の 病 気
全 体	2,071	4.6	42.5	18.2	16.3	16.0	15.5	13.0	12.2	11.8	11.2
性年齢別											
男性 40～64歳	33	6.1	51.5	21.2	9.1	9.1	30.3	6.1	9.1	45.5	3.0
男性 65～74歳	66	3.0	37.9	16.7	10.6	6.1	24.2	9.1	16.7	30.3	21.2
男性 75～84歳	281	3.9	33.8	13.5	19.6	5.3	19.9	13.5	7.1	15.7	21.0
男性 85歳以上	366	5.2	41.5	20.8	23.0	6.8	15.0	11.7	8.5	10.9	29.8
女性 40～64歳	39	10.3	28.2	12.8	10.3	7.7	7.7	17.9	5.1	23.1	10.3
女性 65～74歳	94	1.1	42.6	18.1	6.4	16.0	28.7	10.6	11.7	20.2	3.2
女性 75～84歳	450	3.1	44.0	19.8	13.3	24.9	15.3	13.8	16.2	10.7	2.9
女性 85歳以上	668	6.4	50.0	19.9	17.1	22.8	12.6	14.7	14.5	7.0	4.0
被介護者の要介護度別											
軽度	1,046	4.5	46.7	20.6	17.9	19.1	15.3	4.9	15.6	9.3	11.6
中度	584	3.9	45.2	18.0	16.8	14.0	17.5	22.1	11.5	14.0	11.3
重度	274	4.4	33.9	14.6	13.5	15.0	15.7	29.6	6.6	21.2	12.8
わからない	60	13.3	35.0	20.0	10.0	10.0	18.3	1.7	3.3	8.3	8.3
世帯構成別											
ひとり暮らし	525	5.1	44.2	22.1	15.4	20.6	14.5	6.7	13.0	9.1	10.3
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	620	3.5	38.1	17.1	18.4	14.0	15.5	13.4	11.6	13.2	15.0
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	41	4.9	39.0	9.8	12.2	4.9	22.0	12.2	7.3	31.7	9.8
子と同居	414	5.8	49.5	21.3	17.9	17.1	18.6	16.2	14.3	13.5	10.4
子ども夫婦との2世帯	207	4.3	49.8	15.5	16.9	16.9	15.5	20.8	12.1	5.8	10.1
兄弟や姉妹	20	10.0	40.0	30.0	10.0	35.0	20.0	0.0	10.0	15.0	0.0
その他	180	5.6	42.2	12.8	13.9	12.2	15.6	19.4	12.8	16.7	8.9
	調査数 (件)	等 外 傷 (転倒・骨 折)	がん (悪性新 生物)	や呼吸 器の病 気(肺炎 等)	耳の 病 気	う胃腸 ・肝臓 ・胆の 病 気	パ ー キ ン ソ ン 病	血 液 ・ 免 疫 の 病 気	う つ 病	そ の 他	無 回 答
全 体	2,071	10.3	7.6	7.3	7.1	6.2	4.1	3.2	3.0	10.6	5.5
性年齢別											
男性 40～64歳	33	3.0	9.1	0.0	0.0	3.0	6.1	6.1	6.1	3.0	0.0
男性 65～74歳	66	4.5	9.1	9.1	3.0	4.5	9.1	3.0	9.1	18.2	3.0
男性 75～84歳	281	8.2	11.7	9.3	7.1	5.7	6.8	2.8	3.9	12.5	2.1
男性 85歳以上	366	9.0	7.7	10.9	12.3	7.7	2.5	3.3	1.1	9.8	2.7
女性 40～64歳	39	12.8	5.1	5.1	0.0	5.1	10.3	10.3	2.6	17.9	2.6
女性 65～74歳	94	9.6	10.6	5.3	3.2	4.3	12.8	6.4	5.3	13.8	2.1
女性 75～84歳	450	12.2	8.7	7.6	5.8	7.3	4.7	3.6	4.4	11.3	2.9
女性 85歳以上	668	12.0	5.1	5.4	7.6	6.1	1.8	2.1	1.8	9.4	3.6
被介護者の要介護度別											
軽度	1,046	9.4	8.1	7.9	8.0	7.8	2.7	3.7	3.3	10.7	2.3
中度	584	12.0	8.6	6.2	7.2	5.1	5.0	3.1	3.8	10.4	2.1
重度	274	12.0	6.2	10.6	3.6	5.1	9.9	2.2	1.5	13.1	4.0
わからない	60	8.3	3.3	1.7	11.7	1.7	1.7	3.3	1.7	10.0	6.7
世帯構成別											
ひとり暮らし	525	12.4	7.0	7.0	8.6	7.2	1.3	3.4	3.0	12.4	2.7
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	620	11.5	8.9	8.9	6.3	6.5	6.9	2.4	2.9	10.0	2.3
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	41	4.9	12.2	4.9	2.4	2.4	4.9	7.3	4.9	12.2	4.9
子と同居	414	9.7	7.2	7.5	7.5	7.2	3.9	2.9	2.7	12.1	2.7
子ども夫婦との2世帯	207	10.6	5.8	7.7	10.6	4.8	3.4	3.4	3.4	7.2	3.4
兄弟や姉妹	20	5.0	5.0	5.0	10.0	10.0	0.0	5.0	10.0	15.0	0.0
その他	180	6.1	9.4	5.6	3.3	3.9	5.6	5.6	2.8	10.6	3.9

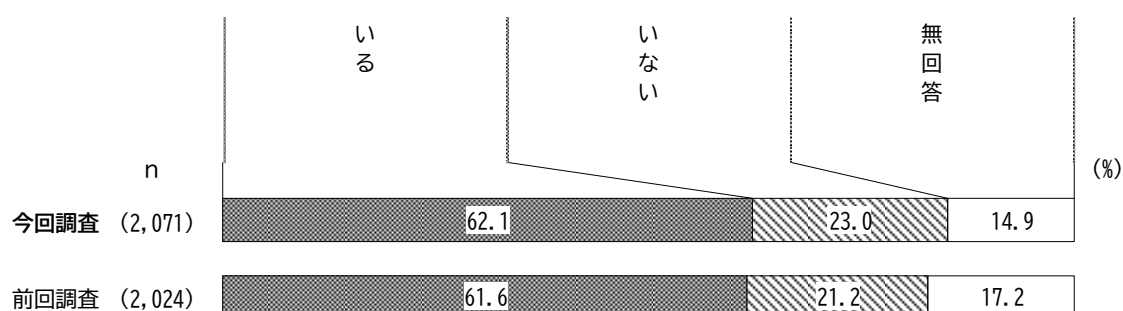
(9) かかりつけ医師、歯科医師、薬局の有無

問8 特定のかかりつけの医師や歯科医師、薬局がありますか。(それぞれ1つに○印)

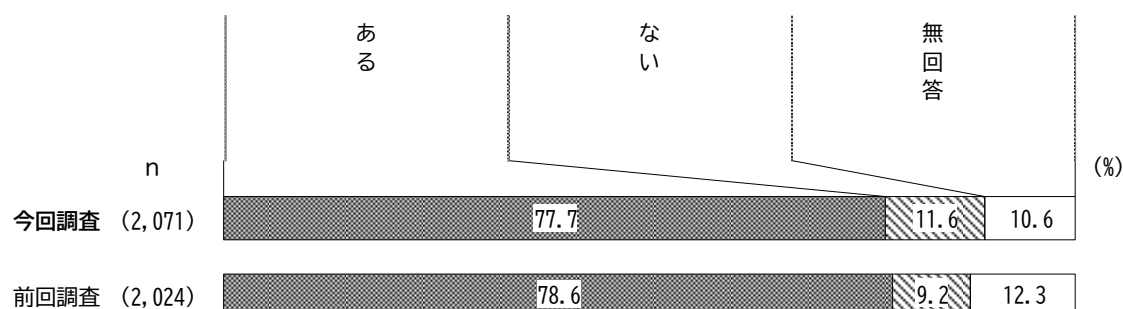
かかりつけの医師の有無は、「いる」が91.6%、「いない」が4.3%となっている。
前回調査と比較すると、大きな差はみられない。



かかりつけの歯科医師の有無は、「いる」が62.1%、「いない」が23.0%となっている。
前回調査と比較すると、大きな差はみられない。



かかりつけの薬剤師・薬局の有無は、「ある」が77.7%、「ない」が11.6%となっている。
前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

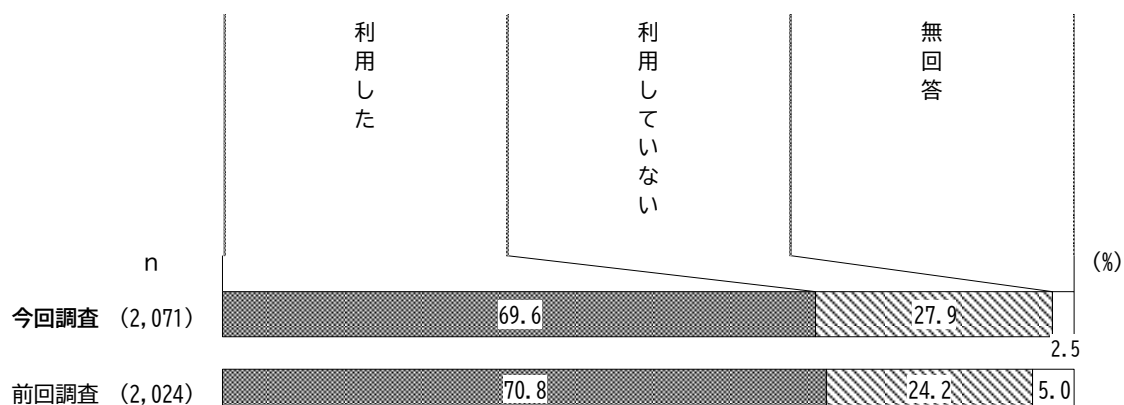


2. 介護保険サービスについて

(1) 介護保険サービス利用の有無

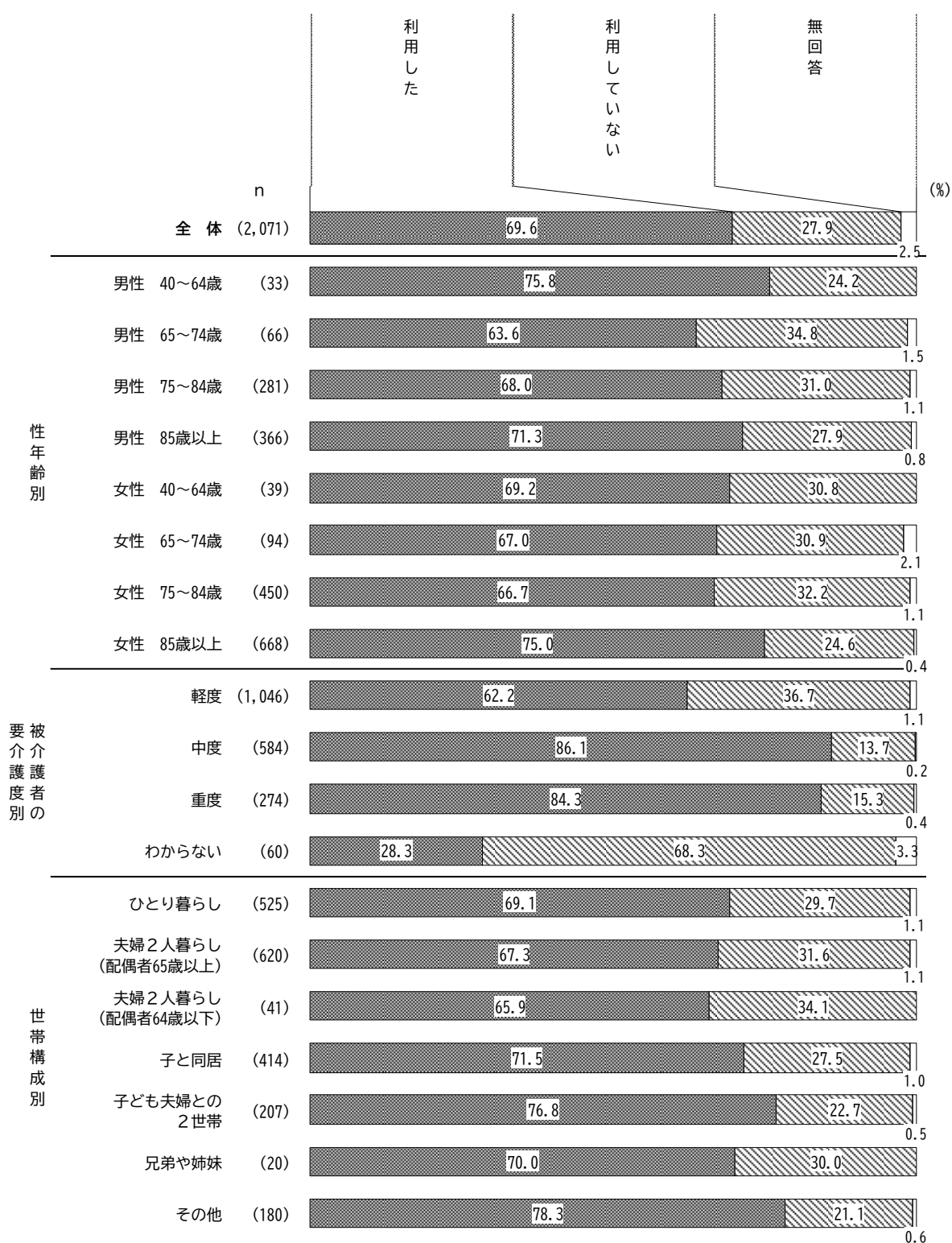
問9 令和7年9月の1か月の間に、介護保険サービスを利用しましたか。(1つだけ○印)

介護保険サービス利用の有無は、「利用した」が69.6%、「利用していない」が27.9%となっている。前回調査と比較すると、大きな差はみられない。



被介護者の要介護度別でみると、「利用した」の割合は『中度』が86.1%と最も多くなっている。性年齢別および世帯構成別でみると、いずれも「利用した」の割合が6割以上となっている。

○介護保険サービス利用の有無／性年齢別、被介護者の要介護度別、世帯構成別

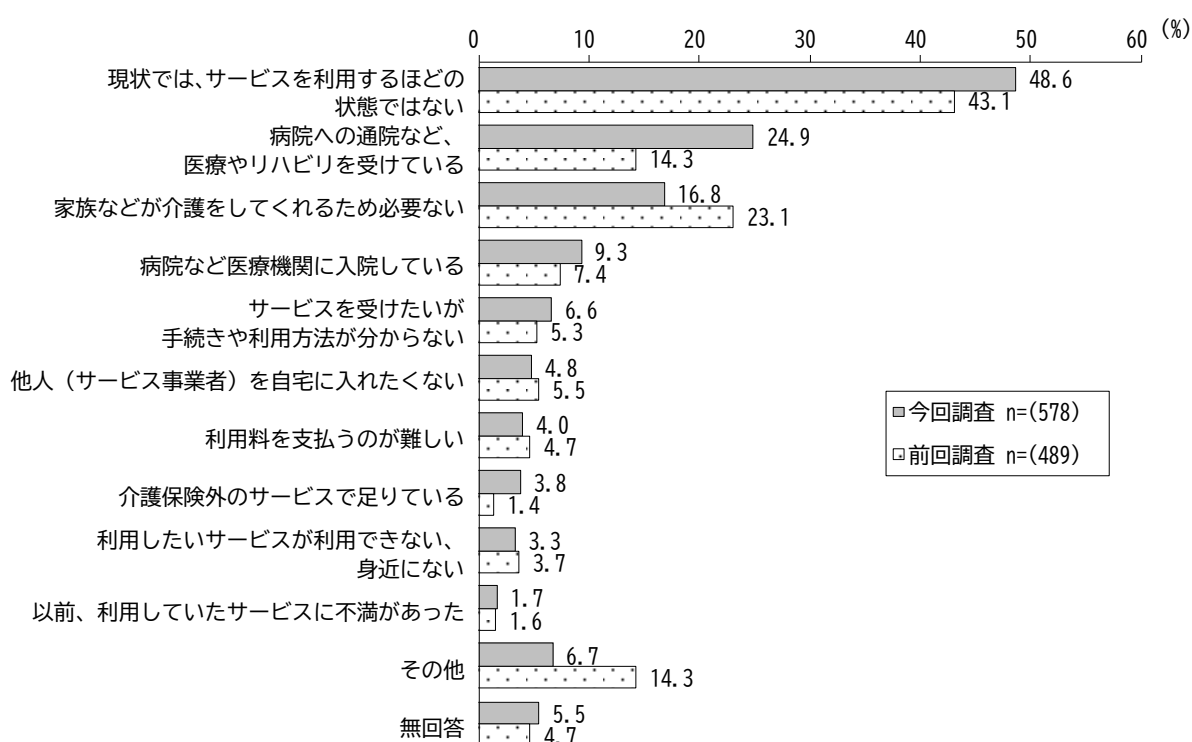


(2) 介護保険サービスを利用していない理由

問10 《問9で「2. 利用していない」と回答した方のみ》
 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数回答可)

介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が48.6%で最も多く、次いで「病院への通院など、医療やリハビリを受けている」が24.9%、「家族などが介護をしてくれるため必要ない」が16.8%となっている。

前回調査と比較すると、「病院への通院など、医療やリハビリを受けている」が10.6ポイント、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が5.5ポイント増加し、「家族などが介護をしてくれるため必要ない」が6.3ポイント減少している。



被介護者の要介護度別でみると、『軽度』では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が56.0%で最も多く、『重度』では「病院など医療機関に入院している」が69.0%で最も多くなっている。

○介護保険サービスを利用していない理由／性年齢別、被介護者の要介護度別、世帯構成別

	調査数（件）	現状では、サービスの状態ではない	医療機関への通院など、受けている	家族などが介護をしない	入院している医療機関に	サービスを受けたい方法が分からない	他人（サービス事業者）を自宅に入れたくない	利用料を支払うのが難しい	介護保険外のサービスで足りている	利用したいサービスがない、身	以前、利用していたサービスに不満があった
全 体	578	48.6	24.9	16.8	9.3	6.6	4.8	4.0	3.8	3.3	1.7
性年齢別											
男性 40～64歳	8	50.0	12.5	12.5	37.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性 65～74歳	23	43.5	17.4	21.7	13.0	13.0	0.0	8.7	4.3	4.3	0.0
男性 75～84歳	87	54.0	20.7	17.2	14.9	1.1	2.3	0.0	4.6	4.6	2.3
男性 85歳以上	102	49.0	22.5	14.7	9.8	10.8	8.8	2.9	2.0	2.9	1.0
女性 40～64歳	12	25.0	25.0	33.3	16.7	8.3	16.7	8.3	8.3	0.0	0.0
女性 65～74歳	29	51.7	20.7	24.1	0.0	3.4	6.9	20.7	3.4	0.0	0.0
女性 75～84歳	145	44.8	33.1	17.2	4.8	8.3	3.4	4.8	4.1	3.4	1.4
女性 85歳以上	164	51.8	25.0	15.2	9.1	4.3	4.9	1.8	3.7	3.7	3.0
被介護者の要介護度別											
軽度	384	56.0	27.6	17.4	2.3	7.0	6.3	3.6	4.2	3.4	1.6
中度	80	26.3	23.8	25.0	15.0	10.0	5.0	3.8	3.8	2.5	5.0
重度	42	7.1	9.5	7.1	69.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	41	68.3	26.8	12.2	2.4	7.3	0.0	7.3	4.9	2.4	0.0
世帯構成別											
ひとり暮らし	156	53.2	32.1	6.4	0.6	6.4	7.1	7.1	7.1	4.5	2.6
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	196	54.1	24.5	19.9	6.1	5.6	4.1	1.5	3.1	2.0	1.5
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	14	42.9	7.1	14.3	14.3	21.4	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0
子と同居	114	36.8	25.4	20.2	20.2	4.4	5.3	4.4	2.6	3.5	2.6
子ども夫婦との2世帯	47	53.2	17.0	29.8	10.6	10.6	2.1	2.1	2.1	8.5	0.0
兄弟や姉妹	6	50.0	33.3	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	38	42.1	13.2	15.8	23.7	10.5	2.6	2.6	2.6	0.0	0.0
	調査数（件）	その他	無回答								
全 体	578	6.7	5.5								
性年齢別											
男性 40～64歳	8	0.0	0.0								
男性 65～74歳	23	13.0	0.0								
男性 75～84歳	87	4.6	5.7								
男性 85歳以上	102	3.9	5.9								
女性 40～64歳	12	16.7	0.0								
女性 65～74歳	29	6.9	6.9								
女性 75～84歳	145	9.0	5.5								
女性 85歳以上	164	6.7	4.3								
被介護者の要介護度別											
軽度	384	6.5	4.2								
中度	80	13.8	5.0								
重度	42	2.4	7.1								
わからない	41	2.4	7.3								
世帯構成別											
ひとり暮らし	156	8.3	3.8								
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	196	4.6	4.1								
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	14	7.1	0.0								
子と同居	114	7.0	7.9								
子ども夫婦との2世帯	47	6.4	2.1								
兄弟や姉妹	6	0.0	0.0								
その他	38	13.2	7.9								

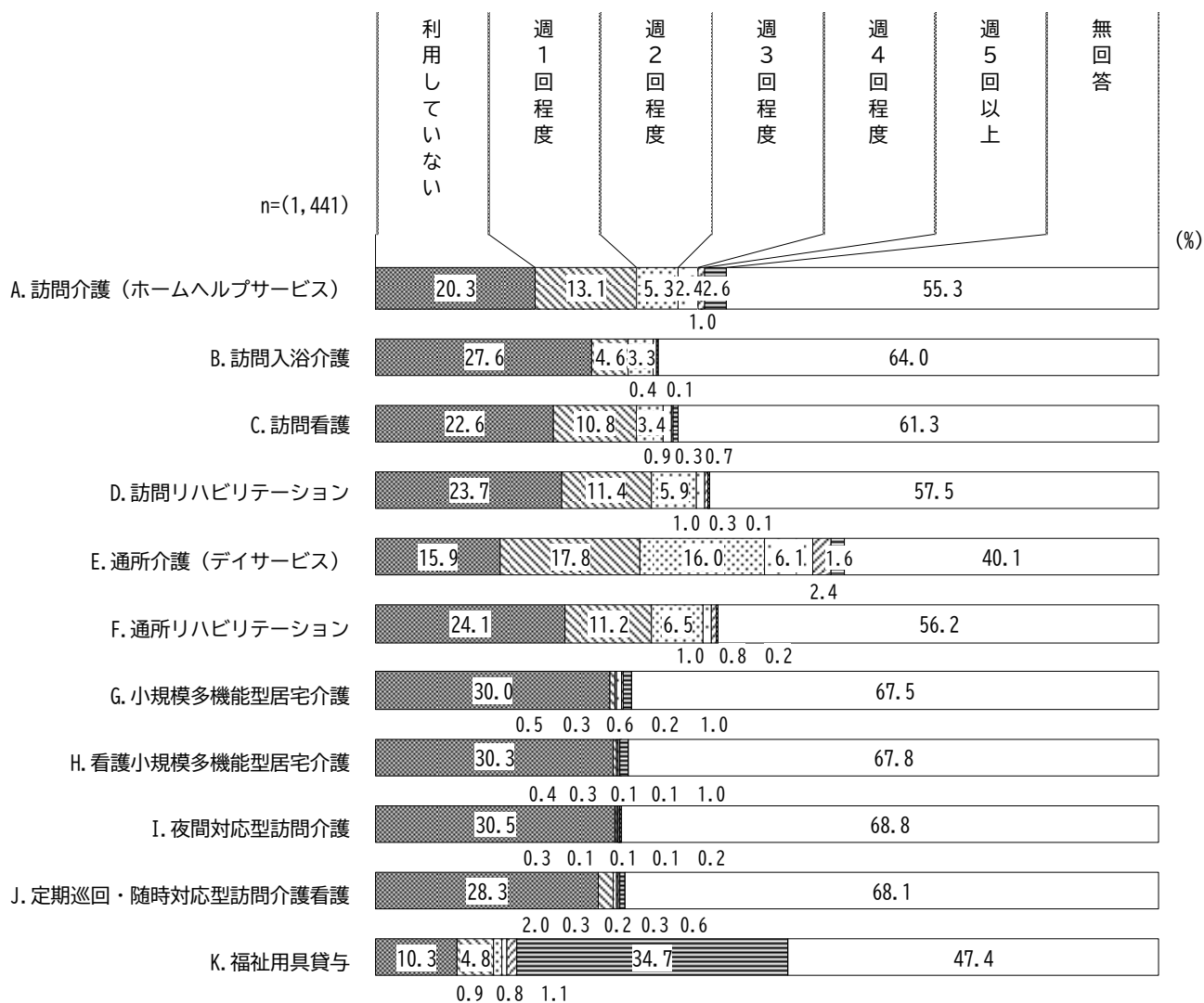
第2章 利用者調査結果の詳細

(3) 介護保険サービスの利用状況と満足度

問11 《問9で「1. 利用した」と回答した方のみ》

以下のA～Kまでの介護保険サービスについて、令和7年9月の1か月間の利用状況をご回答ください。(それぞれ1つに○印)

利用したサービスの利用状況は、以下の通りである。

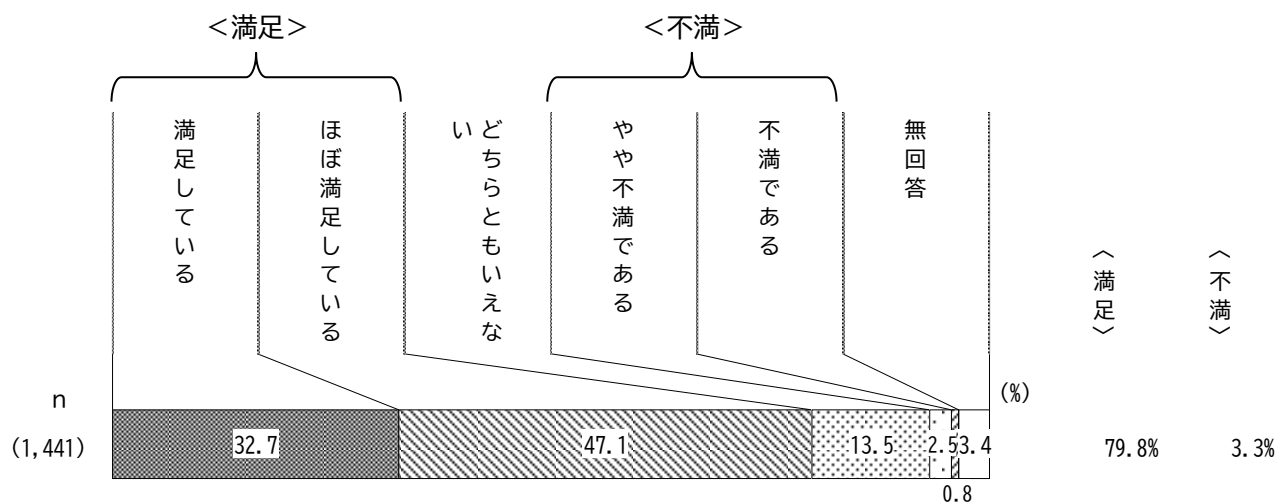


(4) 介護サービスの満足度

問12 《問9で「1. 利用した」と回答した方のみ》

介護サービスの満足度についてどのように感じていますか。(1つだけ○印)

介護サービスの満足度は、「ほぼ満足している」が47.1%で最も多く、次いで「満足している」が32.7%で、これらを合わせた＜満足＞の割合は79.8%となっている。

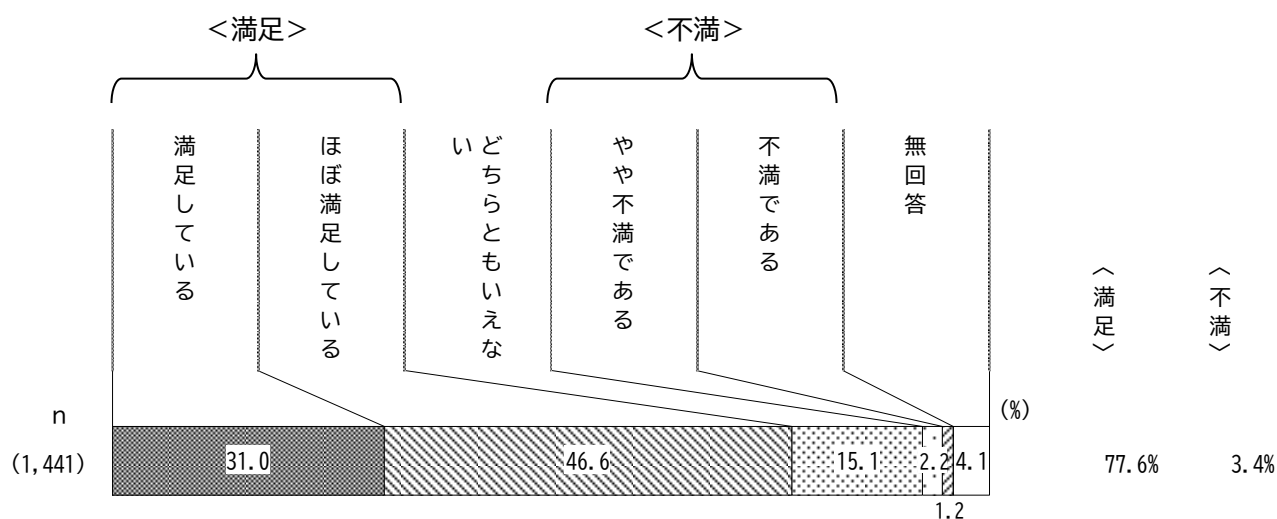


(5) ケアプランに対する満足度

問13 《問9で「1. 利用した」と回答した方のみ》

ケアプランに対する満足度についてどのように感じていますか。(1つだけ○印)

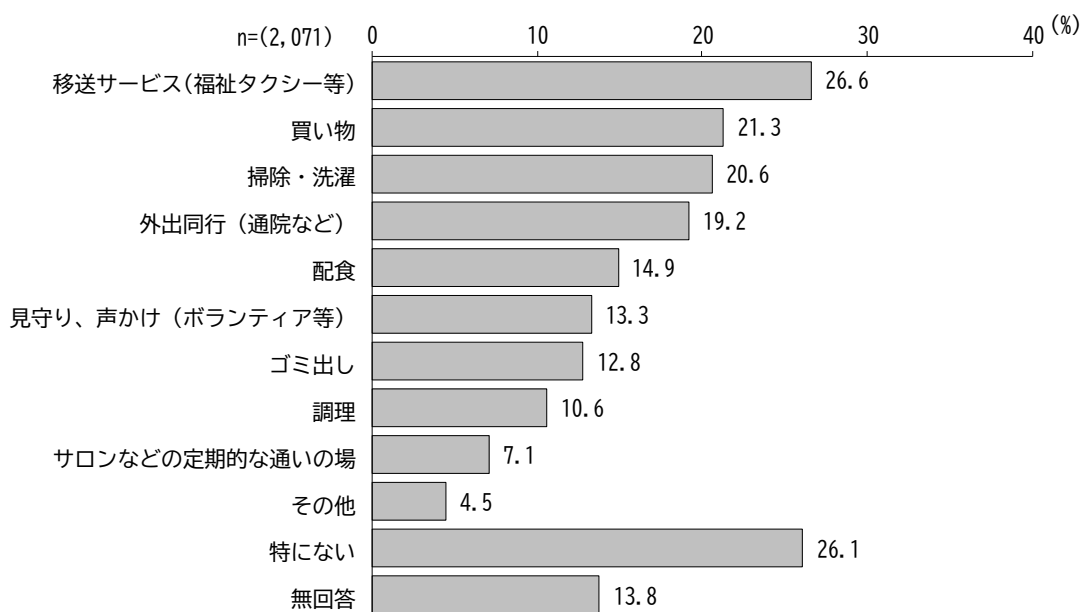
ケアプランに対する満足度は、「ほぼ満足している」が46.6%で最も多く、次いで「満足している」が31.0%で、これらを合わせた＜満足＞の割合は77.6%となっている。



(6) 今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス

問14 今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービスをご回答ください。(複数回答可)

今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービスは、「移送サービス(福祉タクシー等)」が26.6%で最も多く、次いで「買い物」が21.3%、「掃除・洗濯」が20.6%となっている。一方、「特にない」は26.1%であった。



被介護者の要介護度別でみると、具体的なサービスではいずれも「移送サービス(福祉タクシー等)」が最も多いが、『軽度』および『重度』については「特にない」が最も多くなっている。

世帯構成別でみると、『ひとり暮らし』では「掃除・洗濯」が34.3%、「買い物」が31.2%で多くなっている。『夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)』および『子と同居』では「移送サービス(福祉タクシー等)」が最も多くなっている。

○在宅生活の継続に必要な支援・サービス／性年齢別、被介護者の要介護度別、世帯構成別

	調査数 (件)	移送サービス (福祉タクシー等)	買い物	掃除・洗濯	外出同行 (通院など)	配食	見守り、声かけ (ボランティア等)	ゴミ出し	調理	定期的な通いの場 サロンなどの場	その他
全 体	2,071	26.6	21.3	20.6	19.2	14.9	13.3	12.8	10.6	7.1	4.5
性年齢別											
男性 40～64歳	33	33.3	15.2	15.2	27.3	12.1	9.1	6.1	12.1	6.1	12.1
男性 65～74歳	66	22.7	19.7	16.7	19.7	9.1	4.5	6.1	10.6	3.0	6.1
男性 75～84歳	281	27.4	16.0	14.9	16.0	13.2	7.5	8.5	9.3	5.7	5.3
男性 85歳以上	366	29.0	24.9	25.1	18.3	20.5	13.4	15.8	12.6	5.2	4.1
女性 40～64歳	39	15.4	17.9	10.3	23.1	17.9	20.5	5.1	7.7	10.3	5.1
女性 65～74歳	94	34.0	24.5	25.5	28.7	12.8	8.5	17.0	13.8	6.4	4.3
女性 75～84歳	450	26.7	23.3	20.7	18.0	17.1	14.0	13.8	12.4	8.7	3.3
女性 85歳以上	668	26.0	21.4	22.2	20.7	12.7	17.2	13.6	9.0	8.1	4.8
被介護者の要介護度別											
軽度	1,046	25.4	24.5	21.8	18.0	13.1	12.1	11.2	9.4	7.3	4.5
中度	584	31.2	20.9	21.7	22.8	18.5	17.5	15.8	13.9	8.2	5.0
重度	274	29.9	15.7	17.9	20.1	18.6	11.3	13.1	10.6	5.1	4.4
わからない	60	15.0	13.3	15.0	6.7	10.0	15.0	11.7	5.0	1.7	3.3
世帯構成別											
ひとり暮らし	525	22.3	31.2	34.3	20.0	17.7	21.1	22.9	13.9	9.0	4.8
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	620	30.2	21.5	19.8	18.5	15.0	8.7	12.6	11.8	5.6	3.4
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	41	19.5	22.0	14.6	26.8	19.5	9.8	9.8	7.3	9.8	4.9
子と同居	414	33.3	18.8	15.2	21.5	14.5	16.7	9.4	10.1	7.5	4.1
子ども夫婦との2世帯	207	20.3	10.1	9.7	16.4	13.5	6.8	1.9	6.8	8.2	8.7
兄弟や姉妹	20	35.0	25.0	20.0	20.0	20.0	20.0	25.0	15.0	0.0	5.0
その他	180	26.7	13.9	14.4	18.9	10.6	8.9	6.1	5.0	5.6	3.9

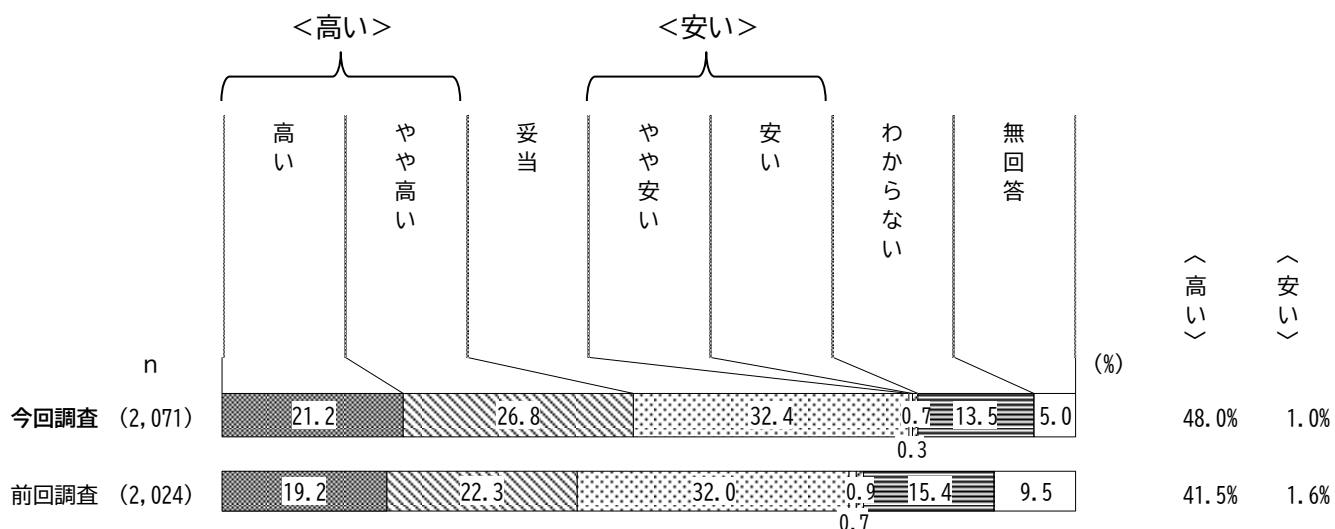
	調査数 (件)	特 に ない	無 回 答
全 体	2,071	26.1	13.8
性年齢別			
男性 40～64歳	33	30.3	9.1
男性 65～74歳	66	34.8	15.2
男性 75～84歳	281	32.0	14.2
男性 85歳以上	366	21.3	13.7
女性 40～64歳	39	41.0	7.7
女性 65～74歳	94	28.7	12.8
女性 75～84歳	450	24.0	14.0
女性 85歳以上	668	26.9	10.2
被介護者の要介護度別			
軽度	1,046	26.3	11.4
中度	584	23.8	11.8
重度	274	32.8	13.5
わからない	60	30.0	20.0
世帯構成別			
ひとり暮らし	525	15.6	7.8
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	620	27.7	15.2
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	41	24.4	17.1
子と同居	414	33.1	10.1
子ども夫婦との2世帯	207	33.8	14.5
兄弟や姉妹	20	35.0	5.0
その他	180	30.6	17.8

(7) 介護保険料額の負担感

問15 現在の暮らしの状況からみて、あなた本人が支払っている介護保険料額について、どのように思いますか。(1つだけ○印)

介護保険料の負担感は、「妥当」が32.4%で最も多くなっている。また、「高い」(21.2%)と「やや高い」(26.8%)を合計した<高い>の割合は48.0%であった。

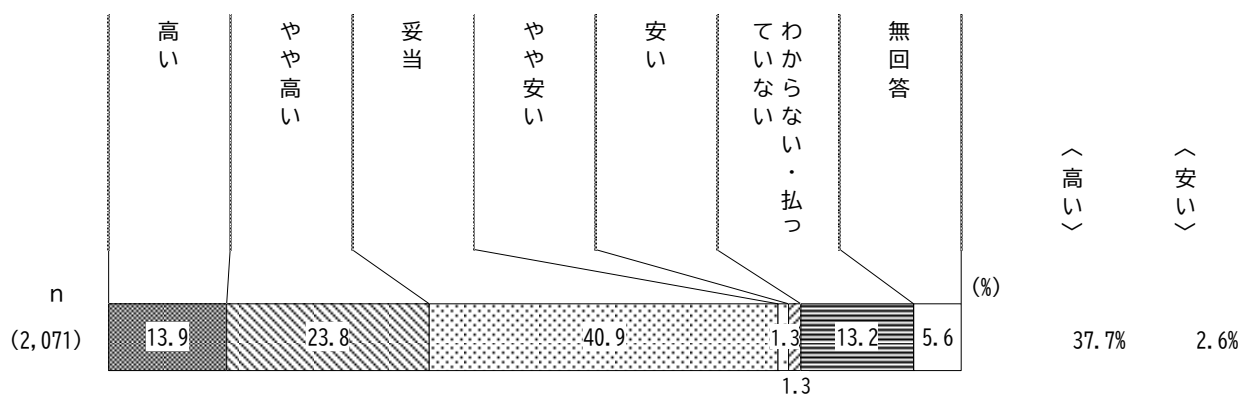
前回調査と比較すると、<高い>が6.5ポイント増加している。



(8) 利用者負担額の負担感

問16 現在の暮らしの状況からみて、あなた本人が支払っている利用者負担額について、どのように思いますか。(1つだけ○印)

利用者負担額の負担感は、「妥当」が40.9%で最も多くなっている。また、「高い」(13.9%)と「やや高い」(23.8%)を合計した<高い>の割合は37.7%であった。

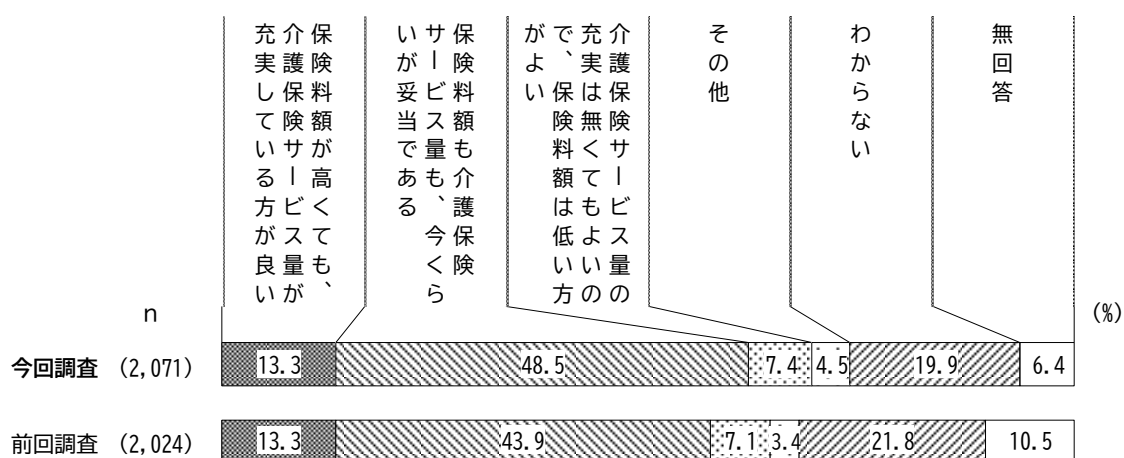


(9) 今後の介護保険とサービスのあり方

問17 介護保険サービスの財源は、その一部が保険料で賄われているため、介護保険施設等の整備によりサービス提供量が増えると保険料が高くなる仕組みになっています。今後の保険とサービスのあり方について、あなたの考えに近いものをご回答ください。
(1つだけ○印)

今後の介護保険とサービスのあり方は、「保険料額も介護保険サービス量も、今くらいが妥当である」が48.5%で最も多く、次いで「わからない」が19.9%、「保険料額が高くて、介護保険サービス量が充実している方が良い」が13.3%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。



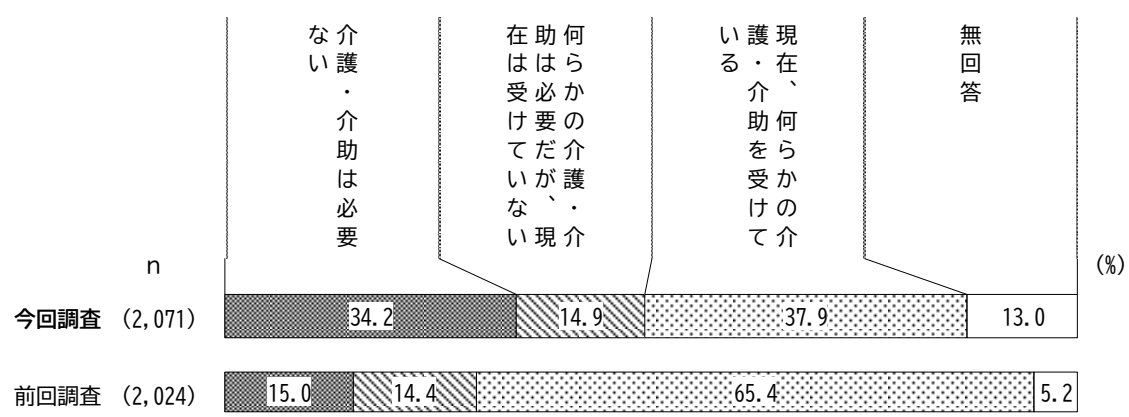
3. 本人やご家族の状況について

(1) 介護・介助の必要性

問18 あなた本人は、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つだけ○印)

普段の生活での介護・介助の必要性は、「現在、何らかの介護・介助を受けている」が37.9%で最も多く、次いで「介護・介助は必要ない」が34.2%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が14.9%となっている。

前回調査と比較すると、「介護・介助は必要ない」が19.2ポイント増加し、「現在、何らかの介護・介助を受けている」が27.5ポイント減少している。なお、前回調査とは調査対象者の属性（対象年齢）が異なるため、結果の変化に影響が生じることに留意されたい。

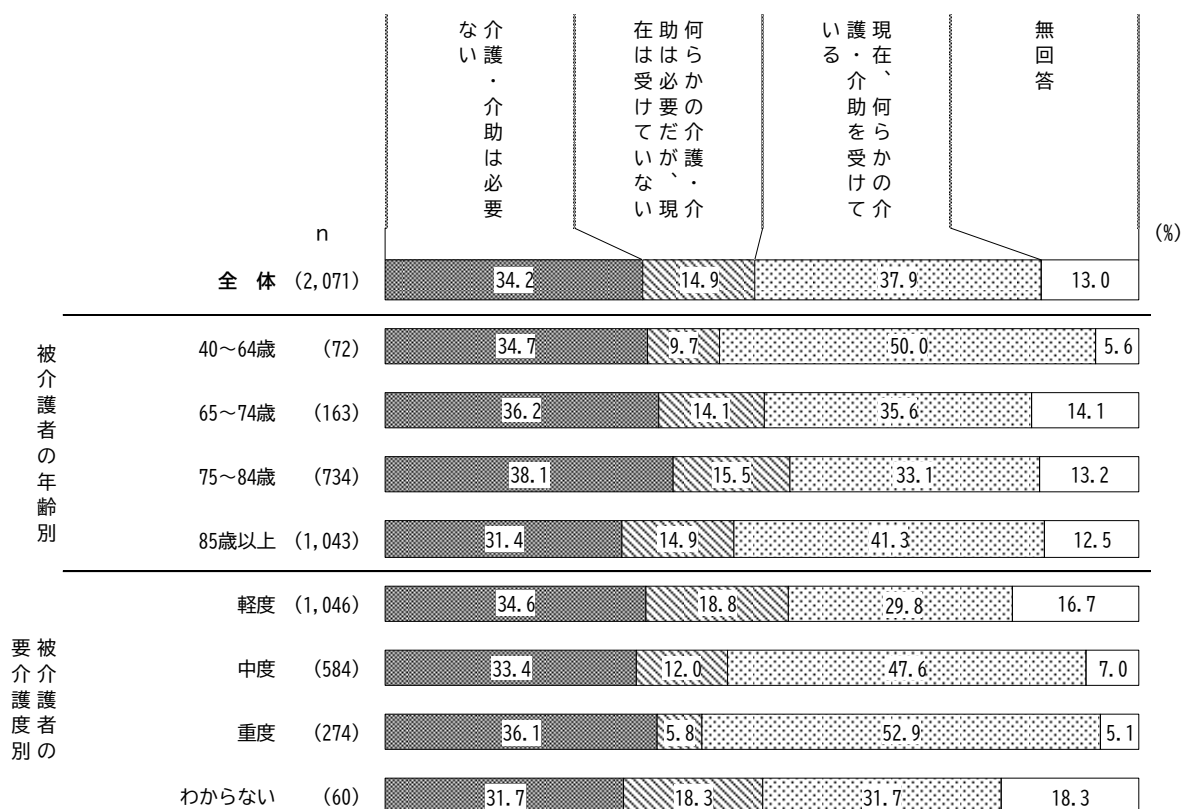


※前回とは調査対象者の属性が異なるため参考値として掲載

被介護者の年齢別でみると、「現在、何らかの介護・介助を受けている」は『40～64歳』で最も多く、50.0%となっている。

被介護者の要介護度別でみると、「現在、何らかの介護・介助を受けている」の割合は『軽度』で29.8%、『中度』で47.6%、『重度』で52.9%と要介護度が上がるほど多くなっている。一方、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合は、『軽度』で18.8%であった。

○介護・介助の必要性／被介護者の年齢別、被介護者の要介護度別



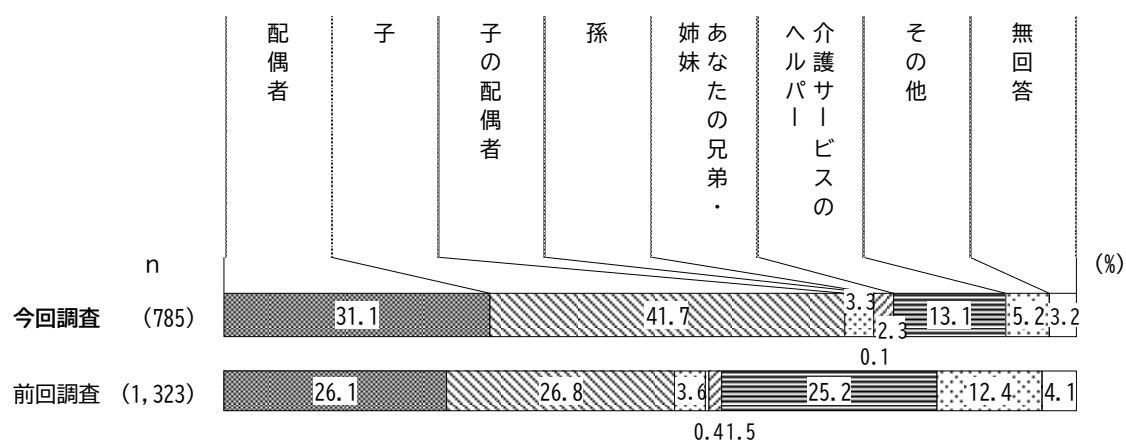
第2章 利用者調査結果の詳細

(2) 主な介護者

問19 《問18で「3. 現在、何らかの介護・介助を受けている」に回答した方のみ》
 主な介護者をご回答ください。(1つだけ○印)

現在、何らかの介護・介助を受けている人の主な介護者の続柄は、「子」が41.7%、「配偶者」が31.1%、「介護サービスのヘルパー」が13.1%となっている。

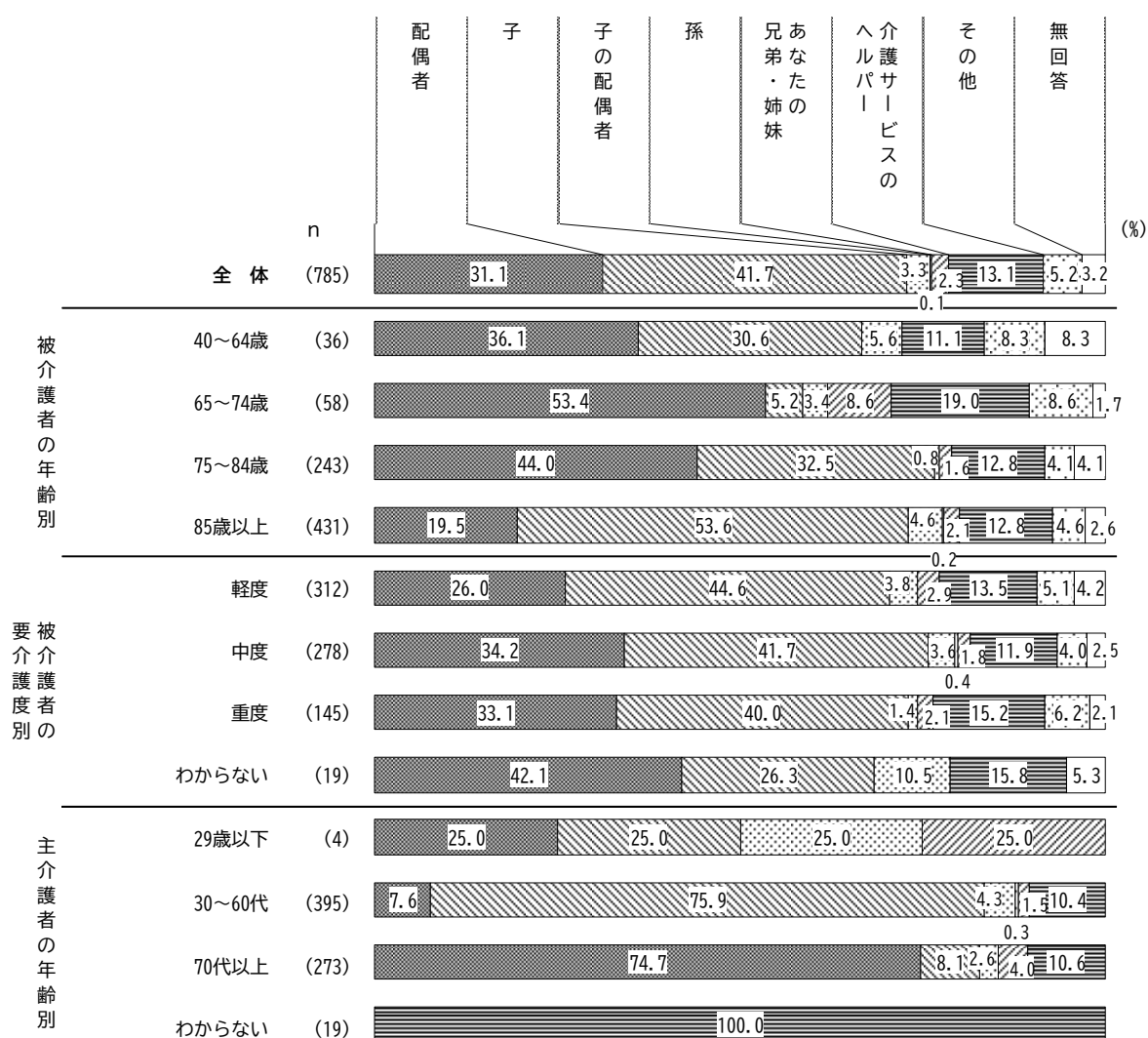
前回調査と比較すると、「子」が14.9ポイント増加し、「介護サービスのヘルパー」が12.1ポイント減少している。



被介護者の年齢別でみると、「配偶者」は『65～74歳』が53.4%と最も多く、「子」は『85歳以上』で53.6%と最も多くなっている。

被介護者の要介護度別でみると、「配偶者」は『中度』が34.2%と最も多く、「子」は『軽度』が44.6%と最も多くなっている。

○主な介護・介助者／被介護者の年齢別、被介護者の要介護度別、主介護者の年齢別



(3) 主な介護者の年齢

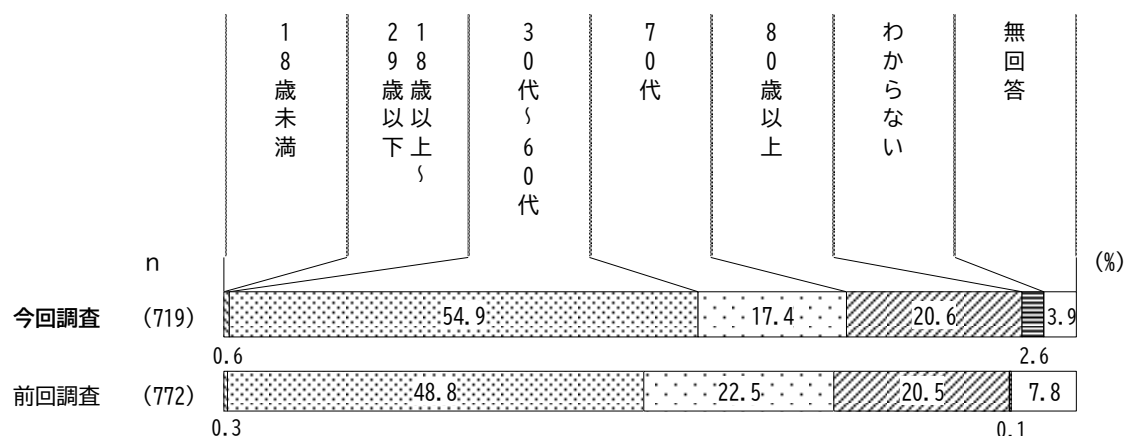
問20 《問19で「1.～6.」と回答した方のみ》

主な介護者の方の年齢をご回答ください（令和7年10月1日時点の満年齢）。

（1つだけ○印）

主な介護者の年齢は、「30代～60代」が54.9%で最も多く、次いで「80歳以上」が20.6%、「70代」が17.4%となっている。

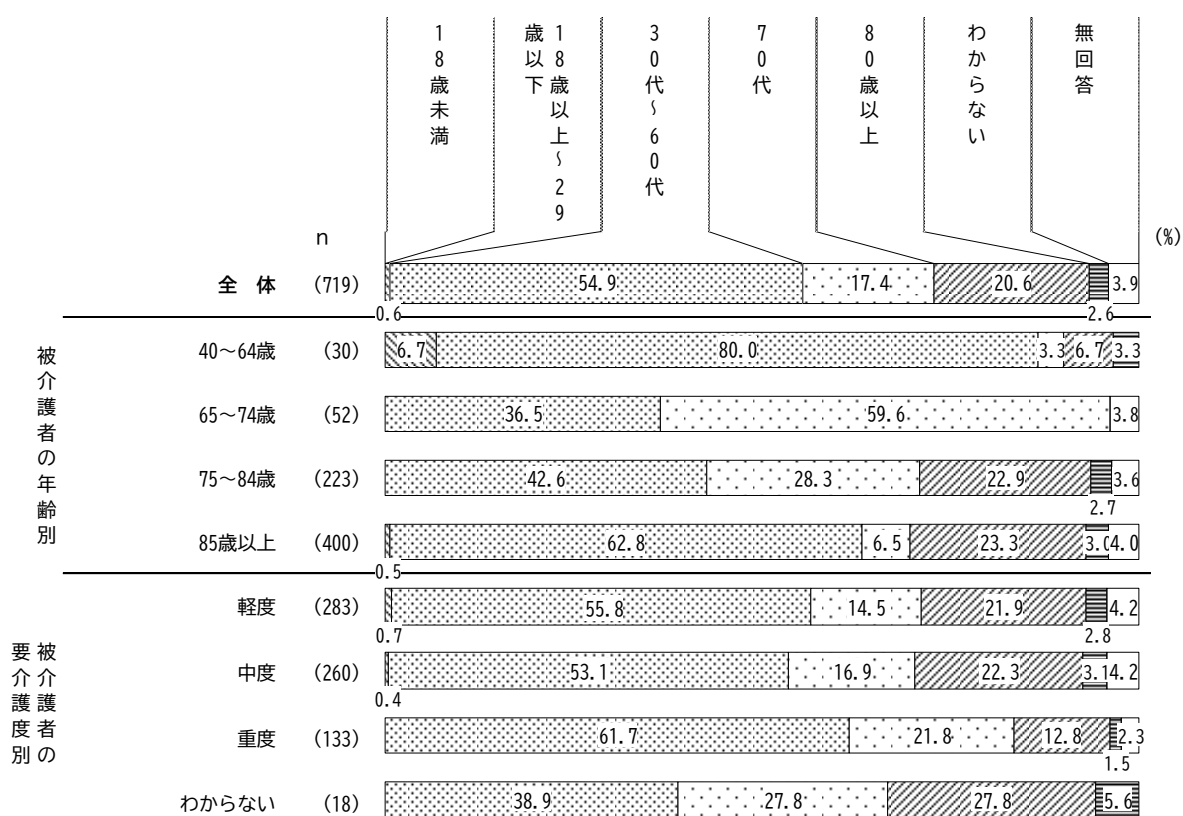
前回調査と比較すると、「30代～60代」が6.1ポイント増加し、「70代」が5.1ポイント減少している。



被介護者の年齢別でみると、「30代～60代」は『40～64歳』が80.0%と最も多く、「70代」は『65～74歳』で59.6%と最も多くなっている。

被介護者の要介護度別でみると、「70代」は『軽度』で14.5%、『中度』で16.9%、『重度』で21.8%と、介護度が重くなるほど多くなっている。

○主な介護者の年齢／被介護者の年齢別、被介護者の要介護度別

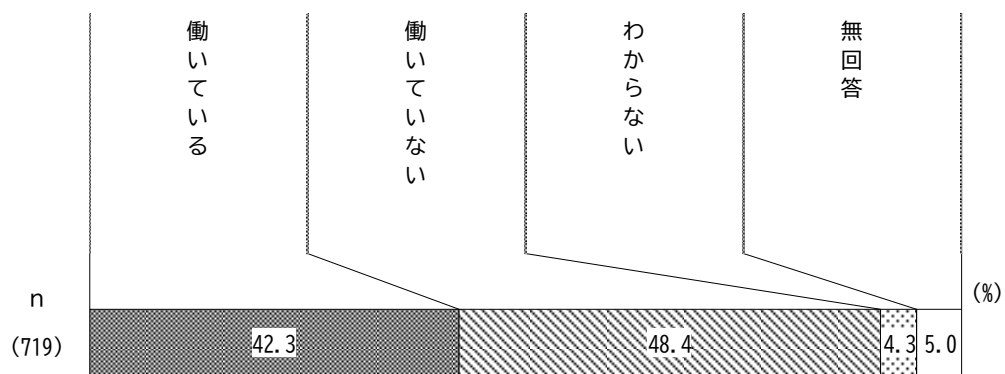


(4) 主な介護者の就労状況

問21 《問19で「1.～6.」と回答した方のみ》

介護者の就労状況についてご回答ください。(1つだけ○印)

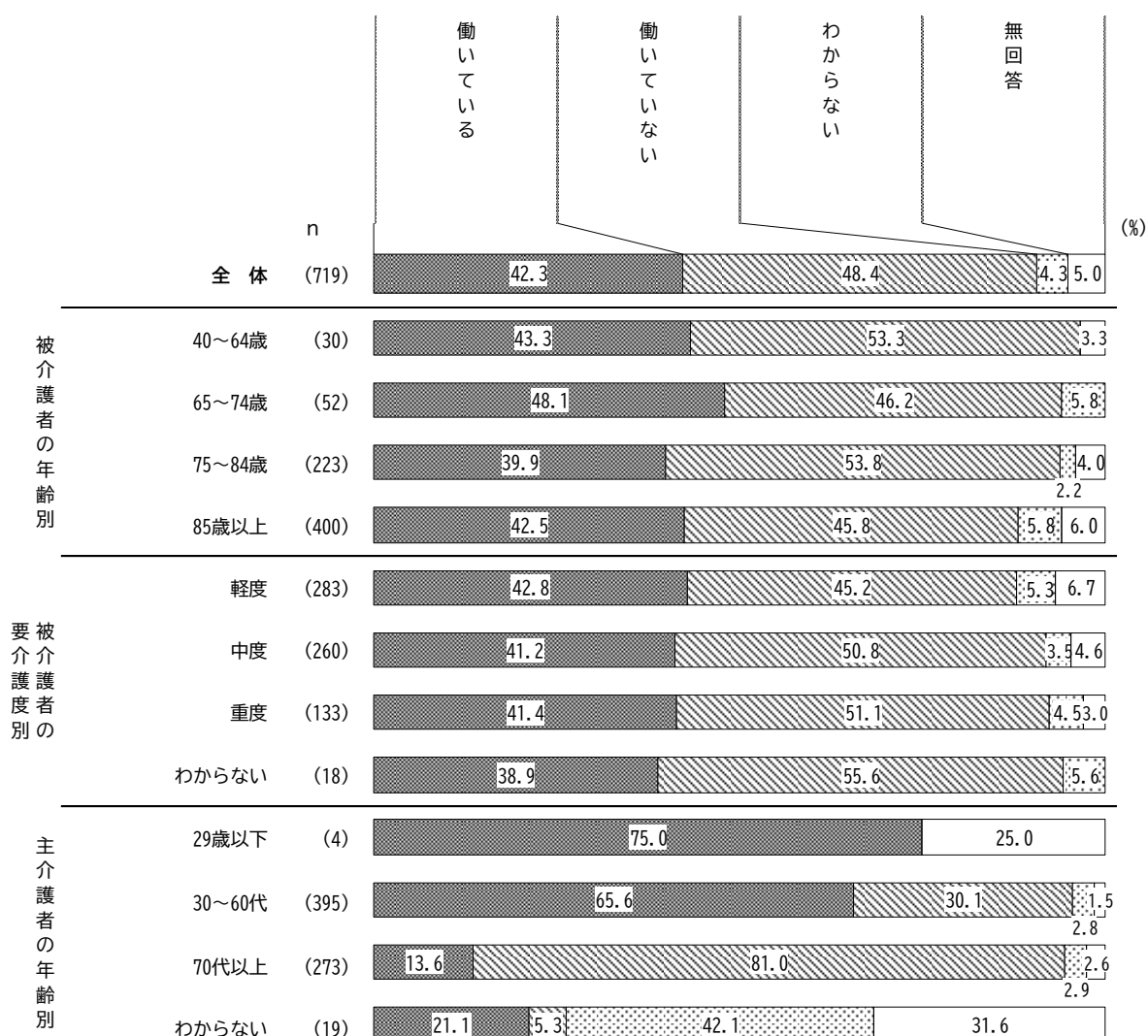
主な介護者の就労状況は、「働いていない」が48.4%で最も多く、次いで「働いている」が42.3%、「わからない」が4.3%となっている。



被介護者の年齢別でみると、「働いている」については『65～74歳』が48.1%で最も多く、『75～84歳』が39.9%で最も少なくなっている。

主介護者の年齢別でみると、『30～60代』では「働いている」が65.6%で最も多く、『70代以上』では「働いていない」が81.0%で最も多くなっている。

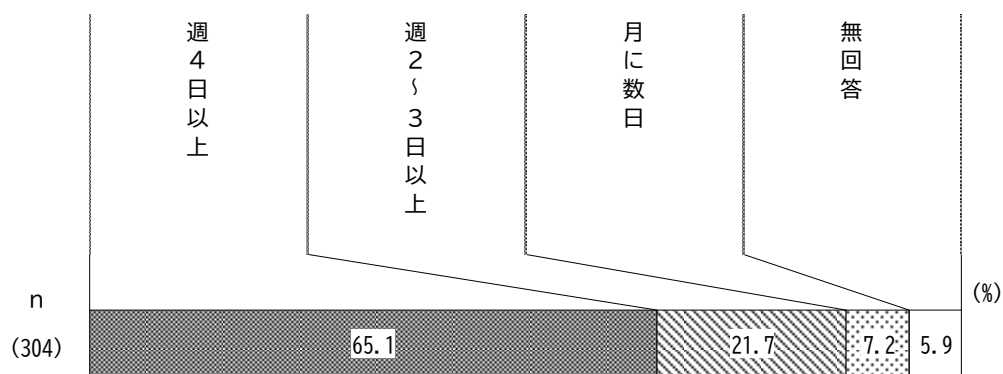
○介護者の就労状況／被介護者の年齢別、被介護者の要介護度別、主介護者の年齢別



(5) 主な介護者の就労頻度

問22 《問21で「1. 働いている」と回答した方のみ》
就労頻度をご回答ください。(1つだけ○印)

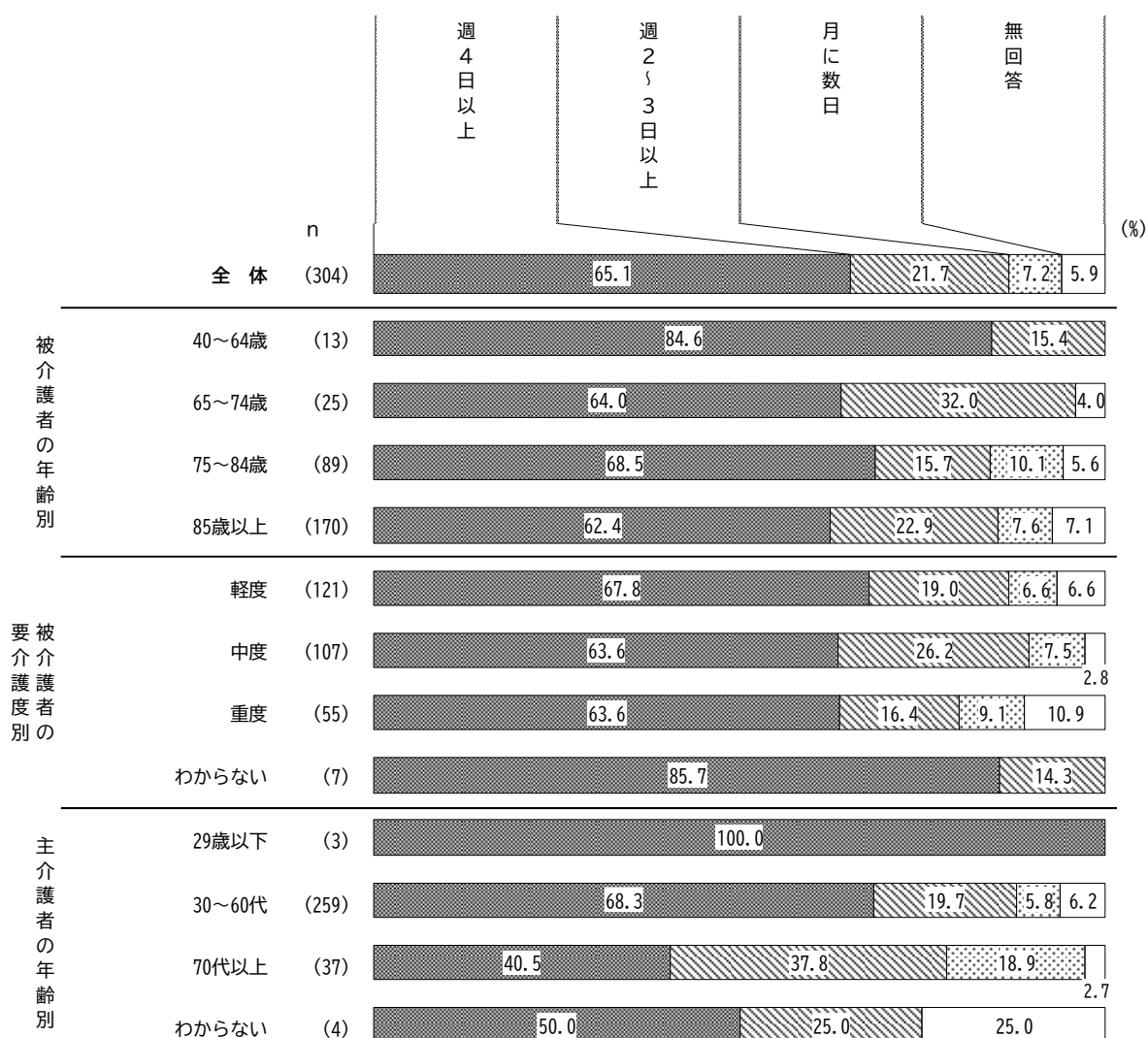
主な介護者の就労頻度は、「週4日以上」が65.1%で最も多く、次いで「週2～3日以上」が21.7%、「月に数日」が7.2%となっている。



被介護者の年齢別でみると、「週4日以上」は『40～64歳』が84.6%と最も多く、『85歳以上』が62.4%と最も少なくなっている。

主介護者の年齢別でみると、「週4日以上」は『30～60代』で68.3%、『70代以上』で40.5%となっている。

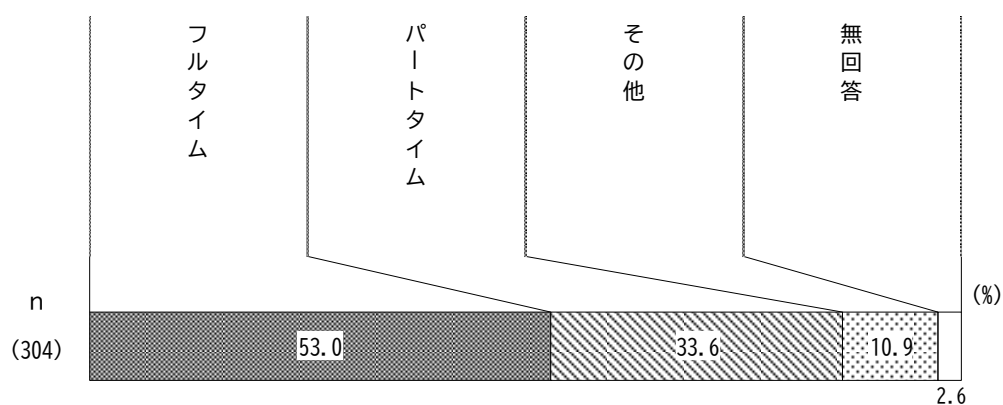
○介護者の就労頻度／被介護者の年齢別、被介護者の要介護度別、主介護者の年齢別



(6) 主な介護者の就労形態

問23 《問21で「1. 働いている」と回答した方のみ》
就労形態をご回答ください。(1つだけ○印)

主な介護者の就労形態は、「フルタイム」が53.0%で最も多く、次いで「パートタイム」が33.6%、「その他」が10.9%となっている。

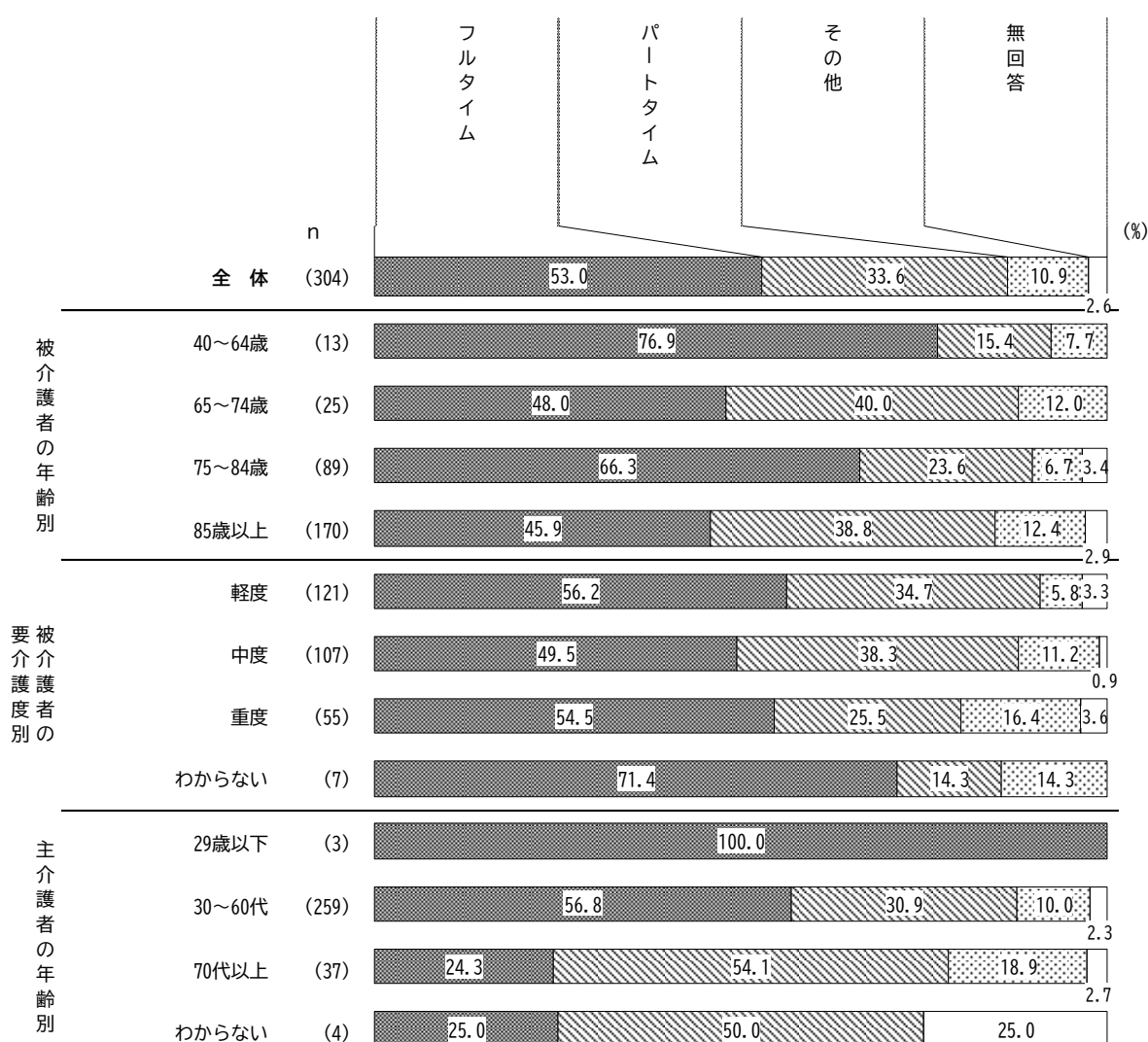


被介護者の年齢別でみると、「フルタイム」では『75～84歳』が66.3%、『85歳以上』が45.9%で最も多くなっている。

被介護者の要介護度別でみると、「フルタイム」では『軽度』が56.2%、『中度』が49.5%、『重度』が54.5%で最も多くなっている。

主介護者の年齢別でみると、『30～60代』では「フルタイム」が56.8%で最も多く、『70代以上』では「パートタイム」が54.1%で最も多くなっている。

○介護者の就労形態／被介護者の年齢別、被介護者の要介護度別、主介護者の年齢別

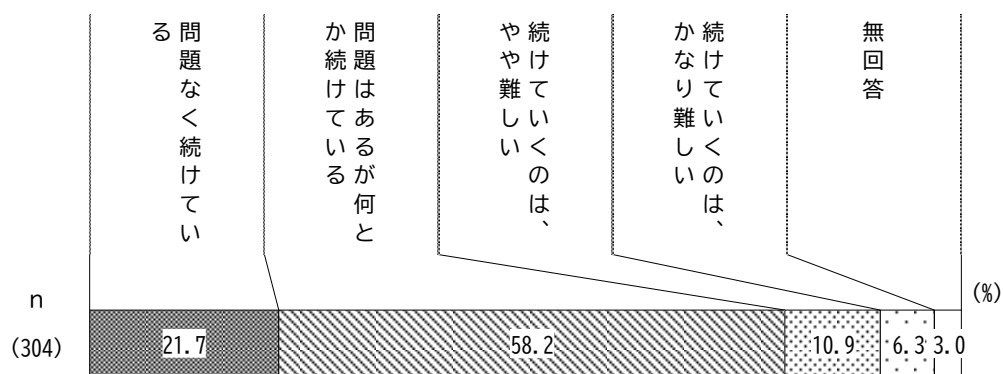


(7) 仕事と介護の両立

問24 《問21で「1. 働いている」と回答した方のみ》

仕事と介護の両立についてご回答ください。(1つだけ○印)

仕事と介護の両立は、「問題はあるが何とか続けていける」が58.2%で最も多く、次いで「問題なく続けていける」が21.7%、「続けていくのは、やや難しい」が10.9%となっている。

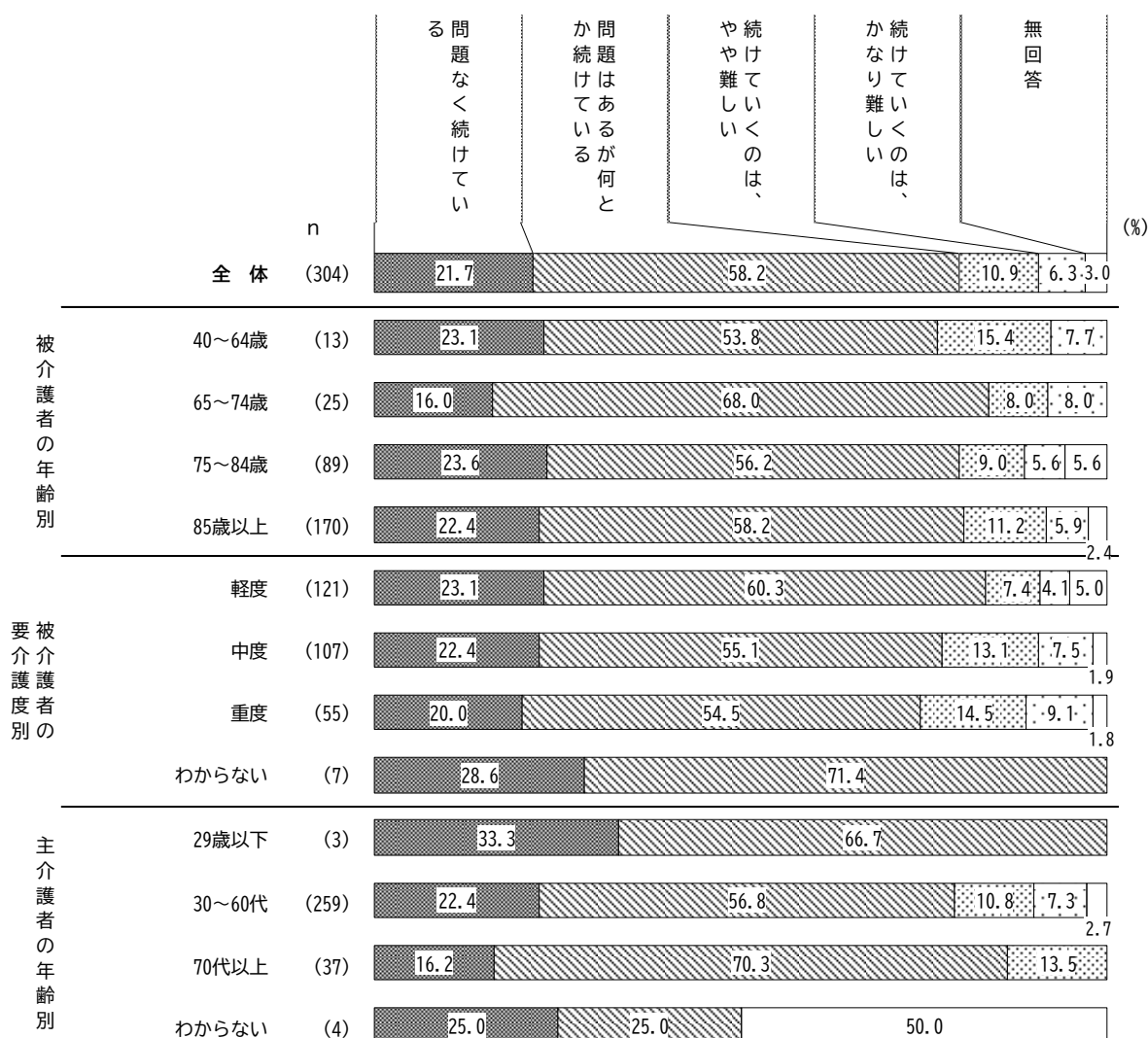


被介護者の年齢別でみると、「問題はあるが何とか続けていける」は『75～84歳』が56.2%、『85歳以上』が58.2%となっている。

被介護者の要介護度別でみると、「問題なく続けていける」および「問題はあるが何とか続けている」は介護度が重くなるほど少なくなっている。

主介護者の年齢別でみると、「問題はあるが何とか続けている」は『30～60代』が56.8%、『70代以上』が70.3%となっている。

○仕事と介護の両立／被介護者の年齢別、被介護者の要介護度別、主介護者の年齢別



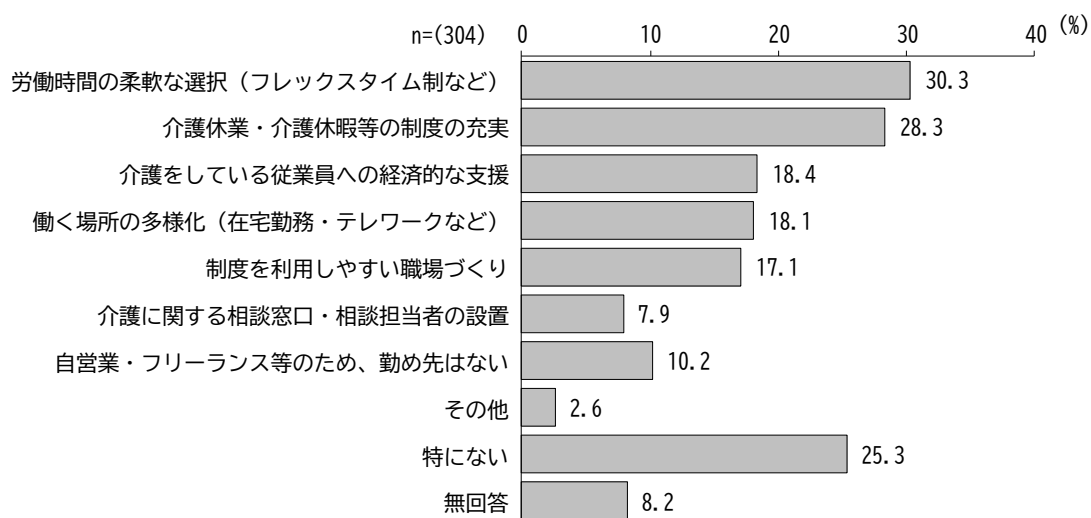
(8) 仕事と介護の両立に効果的な勤め先からの支援

問25 《問21で「1. 働いている」と回答した方のみ》

仕事と介護の両立に効果的な勤め先からの支援についてご回答ください。

(複数回答可)

仕事と介護の両立に効果的な勤め先からの支援は、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が30.3%で最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が28.3%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が18.4%となっている。一方、「特にない」は25.3%であった。



被介護者の年齢別でみると、『75～84歳』では「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が28.1%と最も多いが、「特になし」についても31.5%と多くなっている。また、『85歳以上』では、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」の32.4%に次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が28.8%となっている。

被介護者の要介護度別でみると、『中度』では「介護をしている従業員への経済的な支援」および「働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）」が『軽度』『重度』と比較して多くなっている。

主介護者の年齢別でみると、『30～60代』では「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が32.0%、『70代以上』では「特になし」が51.4%で最も多くなっている。

○勤め先からの支援／被介護者の年齢別、被介護者の要介護度別、主介護者の年齢別

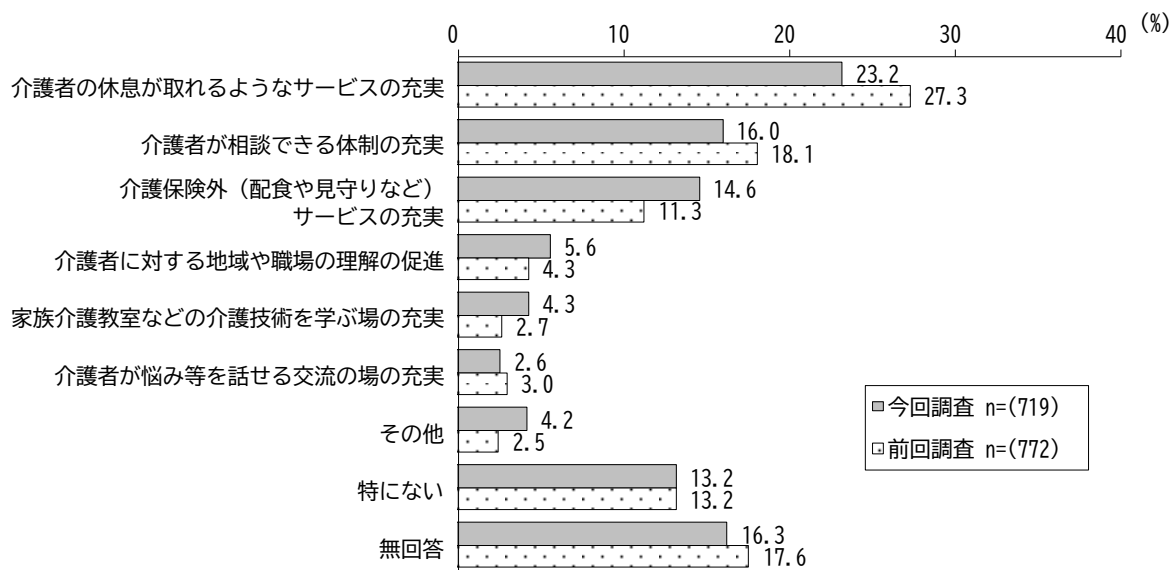
	調査数（件）	柔軟な選択（フレックスタイム制など）	介護休業・介護休暇等の充実	介護をしている従業員への経済的な支援	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	職場づくりしやすい	自己営業・フリーランスのため、勤め先にはない	介護に関する相談者の相談窓口	その他	特になし	無回答
全 体	304	30.3	28.3	18.4	18.1	17.1	10.2	7.9	2.6	25.3	8.2
被介護者の年齢別											
40～64歳	13	61.5	53.8	15.4	46.2	15.4	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0
65～74歳	25	12.0	24.0	20.0	8.0	16.0	8.0	8.0	4.0	36.0	0.0
75～84歳	89	28.1	24.7	13.5	16.9	11.2	6.7	3.4	3.4	31.5	10.1
85歳以上	170	32.4	28.8	21.8	18.8	19.4	12.4	11.2	1.8	21.8	9.4
被介護者の要介護度別											
軽度	121	28.9	27.3	14.9	16.5	18.2	5.0	9.1	3.3	33.9	9.9
中度	107	29.0	28.0	22.4	20.6	13.1	14.0	6.5	1.9	21.5	6.5
重度	55	36.4	29.1	20.0	18.2	18.2	10.9	7.3	1.8	18.2	7.3
わからない	7	42.9	42.9	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3
主介護者の年齢別											
29歳以下	3	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30～60代	259	32.0	29.7	19.3	20.5	18.1	10.4	8.9	2.7	22.4	7.7
70代以上	37	13.5	13.5	13.5	2.7	10.8	10.8	2.7	2.7	51.4	5.4
わからない	4	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0

(9) 市へ最も望む支援

問26 主な介護者の方が、市へ最も望む支援は何ですか。(1つだけ○印)

市へ最も望む支援は、「介護者の休息が取れるようなサービスの充実」が23.2%で最も多く、次いで「介護者が相談できる体制の充実」が16.0%、「介護保険外（配食や見守りなど）サービスの充実」が14.6%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。



被介護者の年齢別でみると、『65～74歳』では「介護者が相談できる体制の充実」が19.2%で最も多く、その他の年齢については「介護者の休息が取れるようなサービスの充実」が最も多くなっている。

被介護者の要介護度別でみると、「介護者の休息が取れるようなサービスの充実」に次いで、『軽度』および『重度』では「介護者が相談できる体制の充実」、『中度』では「介護保険外（配食や見守りなど）サービスの充実」が多くなっている。

主介護者の年齢別でみると、「介護者の休息が取れるようなサービスの充実」に次いで、『30～60代』では「介護保険外（配食や見守りなど）サービスの充実」、『70代以上』では「介護者が相談できる体制の充実」が多くなっている。

○市へ最も望む支援／被介護者の年齢別、被介護者の要介護度別、主介護者の年齢別

	調査数 (件)	介護者の休息 がとれるサ ービスの充 実	介護者が相 談できる 体制の充 実	介護保険外 (配食や 見守りな ど)の充 実	介護場 所への理 解する 地域	家族 介護を 行う場 所の充 実	介護者 の悩み の等 を 実	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全 体	719	23.2	16.0	14.6	5.6	4.3	2.6	4.2	13.2	16.3
被介護者の年齢別										
40～64歳	30	23.3	13.3	6.7	3.3	10.0	3.3	3.3	13.3	23.3
65～74歳	52	9.6	19.2	15.4	5.8	5.8	3.8	9.6	23.1	7.7
75～84歳	223	24.7	15.2	14.8	7.6	1.8	3.1	3.1	14.3	15.2
85歳以上	400	24.8	16.0	14.8	4.5	5.0	2.3	4.0	11.5	17.3
被介護者の要介護度別										
軽度	283	19.4	16.3	12.7	7.1	4.2	2.8	4.2	12.7	20.5
中度	260	25.8	14.2	18.5	4.2	3.5	1.9	3.5	13.8	14.6
重度	133	28.6	17.3	10.5	3.8	6.8	3.0	6.0	13.5	10.5
わからない	18	16.7	16.7	11.1	11.1	0.0	5.6	0.0	16.7	22.2
主介護者の年齢別										
29歳以下	4	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
30～60代	395	23.5	14.9	18.0	6.8	4.8	2.5	5.1	13.2	11.1
70代以上	273	25.6	17.9	12.1	3.7	4.4	3.3	3.3	14.3	15.4
わからない	19	10.5	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	5.3	10.5	68.4

(10) 自由意見

問27 主な介護者の方から、本市の介護保険行政に対して、ご意見・ご要望があれば、どのようなことでもかまいませんので、ご自由にご記入ください。

意見・要望等の自由回答欄には、回答者2,071人のうち、295人（記入の割合14.2%）の方に記入いただいた。本報告書では、紙面の都合上すべてを掲載することができないため、その一部を抜粋した。掲載内容は、恣意的な解釈が入らないよう、できる限り原文に近い表記とさせていただいた。

内容	件数
介護福祉行政・まちづくりに関すること	53
介護保険料・利用料に関すること	53
家族等介護者に関すること	52
介護保険制度に関すること	41
相談窓口・情報提供に関すること	38
介護サービスに関すること	34
特別養護老人ホームなどの施設に関すること	30
介護人材に関すること	16
アンケート調査に関すること	12
その他	36

※1人で複数の記載があるため、件数の合計と記入者数は一致しない

【介護福祉行政・まちづくりに関すること】

福祉タクシー・マッサージ等ありがたい支援だが、介護度が高いと利用しづらく、またできないのが現状、そのようなケースに対応して現金（支援金）も選択できるとありがたい。最後は誰も一人になるし、一人世帯が増加している中、本市でも自治体として安心して一人でも死ねる支援体制（保証人等も含めて）を早く確立して欲しい。他の自治体では既に始まっているようだが。

高齢者同士が集えるコミュニティがもっと増えたらいいと思います。同じような者同士の方がわかり合える事は多いと思うので。

相談窓口の時間帯（土日祝）の幅を広げて頂けたら嬉しく思います。平日は仕事の為相談窓口に行かない為。

通院、買物等で交通の便が悪いのでタクシー利用が多い為、利用割引券がほしい。

【介護保険料・利用料に関すること】

家族の負担が減るよう、施設が増え、入居費用及び介護費用が安く利用しやすくなる事を望んでいます。

色々な介護サービスがあり、とても助かっています。若い世代に負担がかからないように、収入や財産に応じて介護保険料を上げて良いと思います。

経済的に働かなければならず、仕事と介護の両方は、難しくなる一方、もっと行政のサービスを利用したいのだが家計に負担がかかり難しい。経済的な支援を充実していただきたい。

【家族等介護者に関すること】

仕事と介護の両立はかなり厳しく（メンタル、フィジカル）、時短勤務せざるを得ず収入面でも不安があります。休息時間を確保できるサービスや経済的な支援はないでしょうか。

家族介護者の多くが女性で、負担が偏っています。男性も介護に関わりやすくなるような啓発や支援を強化してほしいです。

介護者、介護者の勤務先が、介護保険の仕組みや受けられるサービスについての知識が不足しているように思います。適切によりよいサービスを利用し、介護ができることで介護者も、介護を受ける側も、負担が少なくなると思います。介護事業者に対する支援も今後さらに重要と思います。

【介護保険制度に関すること】

介護の認定や変更申請はなるべくスムーズに行ってほしい。

月に一度のケアマネジャーの訪問が負担です。介護度に変化が無いのであればせめて半年に一度ぐらいにして欲しいです。

要介護2の場合の支援が充実してなく、厳しい状況にあります。体の身体機能に準じていますが、認知機能等も考慮した保険サービスの実現をお願いしたい。

【相談窓口・情報提供に関すること】

私は、両親を在宅で介護しています。介護保険制度の仕組みや、点数制度など、個人的に調べられる又は、アドバイス等受けられる資料やネット情報を充実して欲しい。

突然介護が始まった時、包括支援センターの方には本当にお世話になりました。もっと多くの人がある存在を知り、気軽に相談できるように小さな心配や不安を感じたらいつでも～みたいなCMがあればと思います。

初めての介護で、時には暗中模索状態で「本人」が心穏やかに生活できるよう毎日過ごしています。悩んだとき、地域の市民センターの方に介護について相談し、とても心強く感じたことがあります。近い所に気軽に相談できるところ、相談できる人がいることを望みます。

【介護サービスに関すること】

介護者が不在の時間帯に介護を受ける本人が孤立しないよう、保険外でもよいので会話をしたり、様子を見守るようなサービスがあると安心だと思います。

空き予約、デイサービス、ショートステイ、訪問など電話のやり取りで時間を要する。現在アナログなので、ホテルの予約の様に、ネットの時代なので、空き状況は、ネットで見られる、ネット予約できるシステムにして欲しい。

ひとり暮らしの要介護（要支援）者と、家族と同居している要介護（要支援）者として受けられるサービスに差があるのはおかしいと思う。家族と同居している、いないに関わらず同じサービスが受けられるようにしてほしい。

第2章 利用者調査結果の詳細

【特別養護老人ホームなどの施設に関すること】

この先特養へいつかはと思っていますが、ユニット型の特養だと低所得の年金だけでは個室代が高くて申込みさえ出来ません。従来型の特養は今後できないとなると不安です。子供の負担が大きくなると先が見えないので従来型特養も新設してくれたらと願います。
デイサービス・ショートステイを提供している施設の監視と指導をお願いします。安心してお願いできる藤沢市の施設とアピールできるように。
認知症がなく障がいを持っている高齢者が通えるデイサービスや入所施設が足りないので、作ってほしいです。

【介護人材に関すること】

介護従事者への賃金の増額と共に施設をもう少し増築してほしい。
介護サービスを受けるに当たり、ケアマネさんが重要と思われるが、その選択方法がわからない。又、良い悪いの基準がわからない。今特に困っている訳ではないが今の担当の方が良いのか、もっと良い人が居るのか？
介護技術を学ぶのに、今は教室を開いてが多いと思いますが、訪問で個別に教えて頂けると有難いです。

【アンケート調査に関すること】

この様な調査は紙に加えて、インターネット経由でも回答できる様にすべきです。(ペーパーレス & コスト削減)
何年にも渡り親の介護をしています。不満は有りませんがこの様な形で行政が介入する事に安心致します。
この様な書類は本人名ではなく家族あてに届く様希望します。軽い認知で自分名のものだと開いてなくしてしまいます。

【その他】

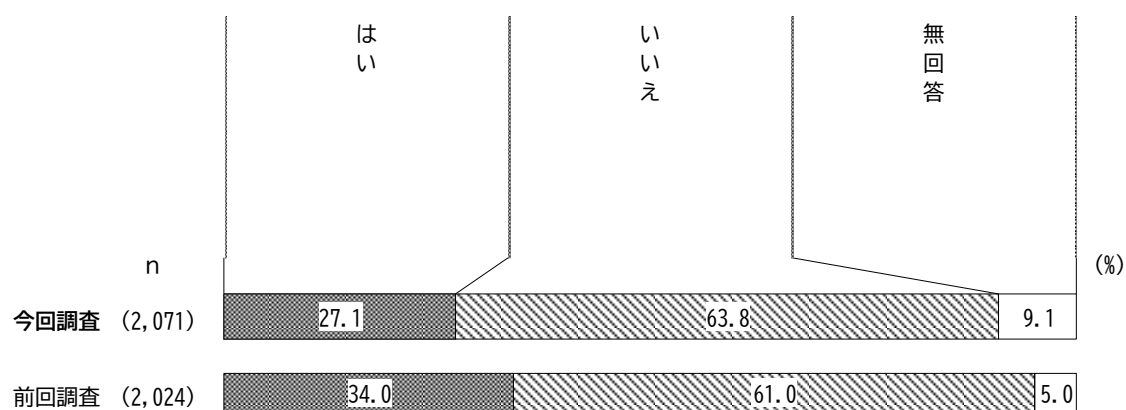
現場の方々や市の担当の方は本当によくやってくれていると思います。ただし国の介護行政や制度設計に問題があり、いずれ崩壊するのではとの思いでもあります。
介護をなるべく受けなくて良いように、歩ける内からリハビリステーションなど気軽に利用できれば良いと思う。
本人の意見が尊重される介護を望みます。終末は必ずきます。どの様な生き方を希望するか本人の意志の尊重を切に望みます。

4. 認知症施策について

(1) 認知症の症状がある人の有無

問28 あなた本人に認知症の症状がある、又は、家族に認知症の症状がある人がいますか。
(1つだけ○印)

本人も含め家族に認知症の症状がある人の有無は、「はい」が27.1%、「いいえ」が63.8%であった。
前回調査と比較すると、「はい」が6.9ポイント減少している。



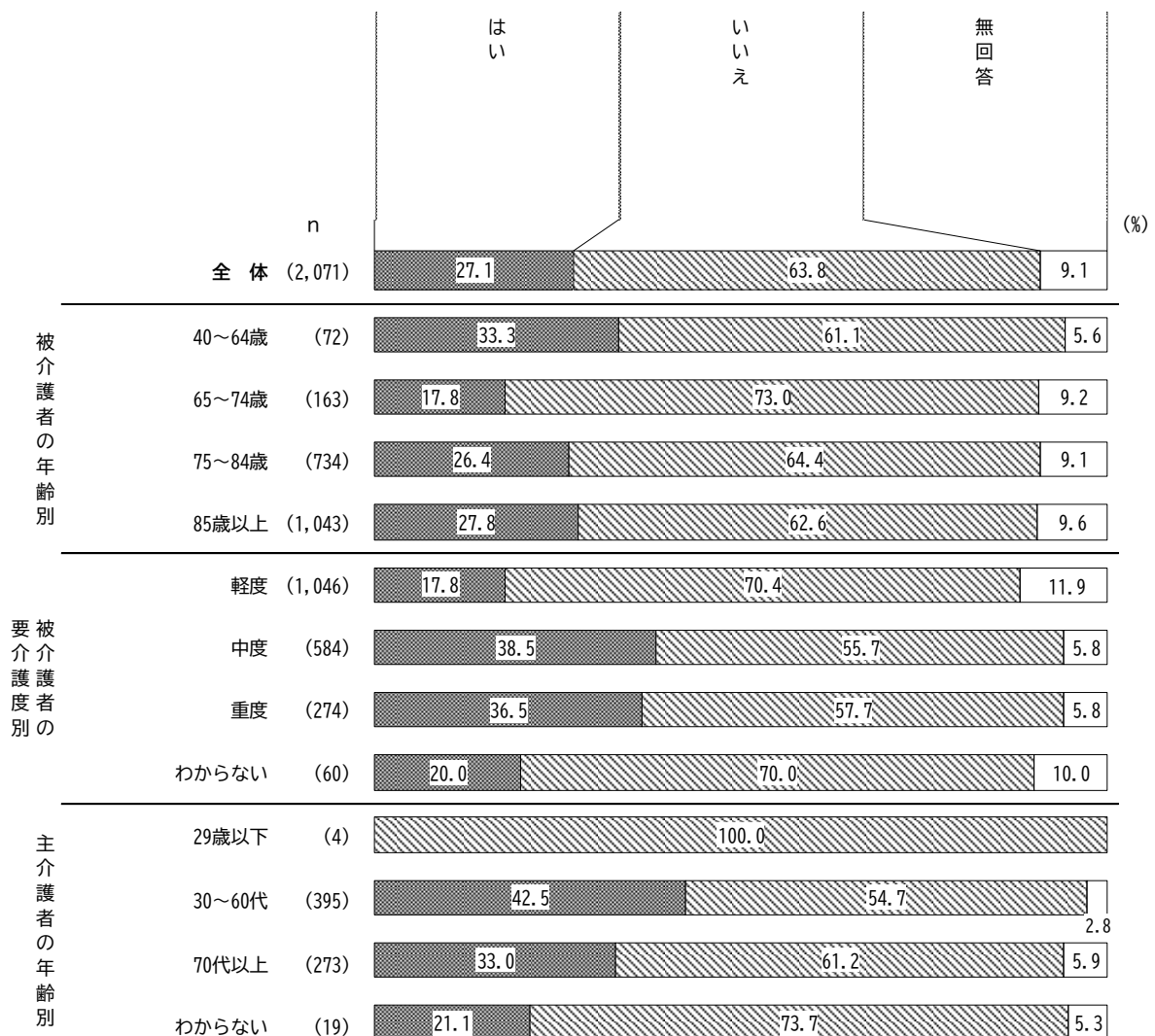
第2章 利用者調査結果の詳細

被介護者の年齢別でみると、「はい」の割合は『40～64歳』が33.3%と最も多くなっている。

被介護者の要介護度別でみると、「はい」の割合は『軽度』で17.8%、『中度』で38.5%、『重度』で36.5%であった。

主介護者の年齢別でみると、「はい」の割合は『30～60代』で42.5%、『70代以上』で33.0%となっている。

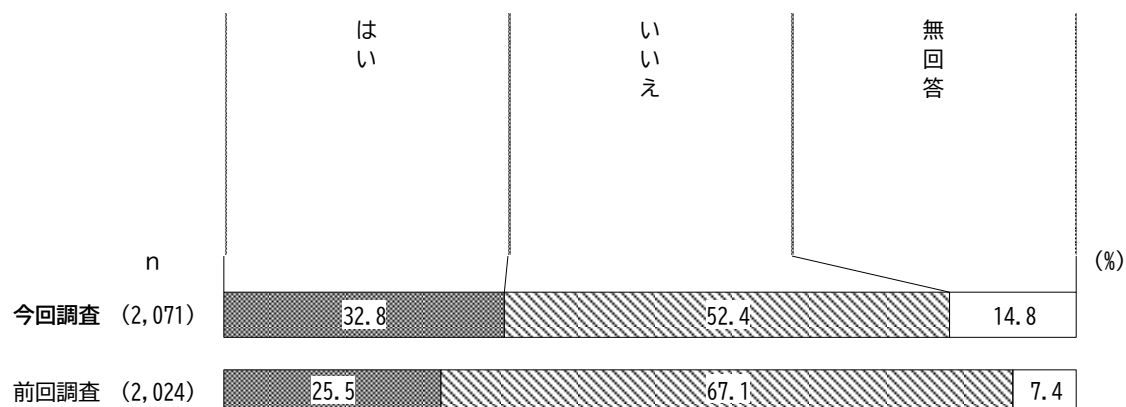
○認知症の症状がある人の有無／被介護者の年齢別、被介護者の要介護度別、主介護者の年齢別



(2) 認知症に関する相談窓口の認知

問29 主な介護者の方は認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ○印)

認知症に関する相談窓口の認知は、「はい」が32.8%、「いいえ」が52.4%となっている。
 前回調査と比較すると、「はい」が7.3ポイント増加し、「いいえ」が14.7ポイント減少している。



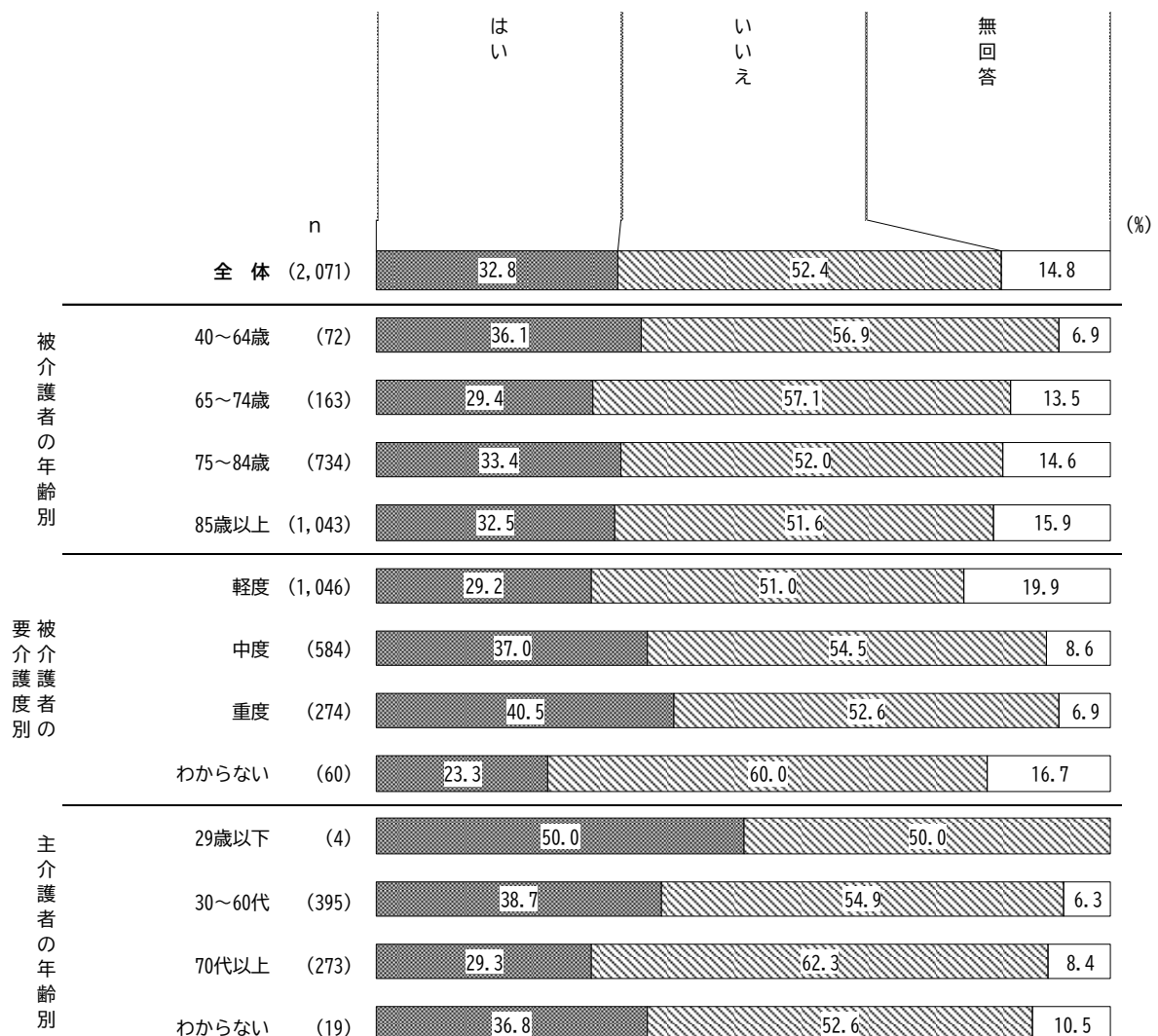
第2章 利用者調査結果の詳細

被介護者の年齢別でみると、「はい」の割合は『40～64歳』が36.1%と最も多くなっている。

被介護者の要介護度別でみると、「はい」の割合は『軽度』が29.2%、『中度』が37.0%、『重度』が40.5%と、要介護度が上がるほど認知度も高くなっている。

主介護者の年齢別でみると、「はい」の割合は『30～60代』で38.7%、『70代以上』で29.3%となっている。

○認知症に関する相談窓口の認知／被介護者の年齢別、被介護者の要介護度別、主介護者の年齢別

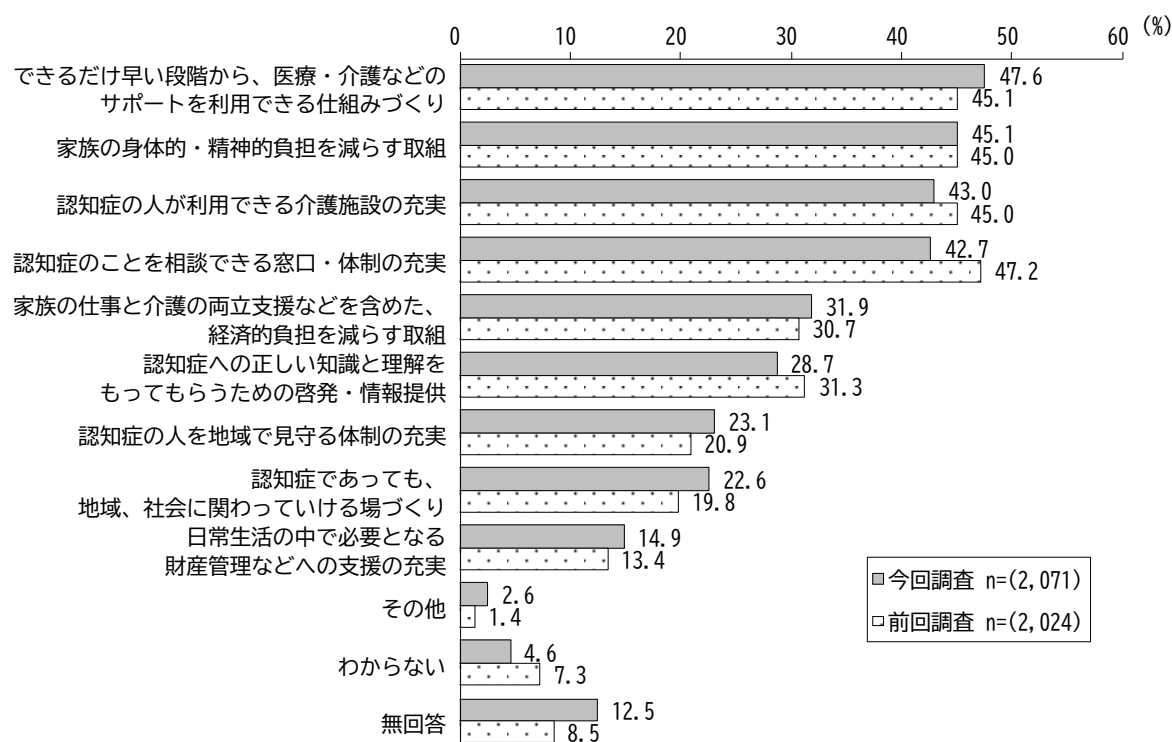


(3) 認知症の方に対する重点的施策

問30 今後、増加が予想される認知症の方への取組として、市はどのような施策に重点を置くべきだと思いますか。(複数回答可)

認知症の方に対する重点的施策は、「できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり」が47.6%で最も多く、次いで「家族の身体的・精神的負担を減らす取組」が45.1%、「認知症の人が利用できる介護施設の充実」が43.0%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。



被介護者の年齢別でみると、『40～64歳』では「家族の身体的・精神的負担を減らす取組」が58.3%で最も多く、その他の年齢では「できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり」が最も多くなっている。

被介護者の要介護度別でみると、『重度』では「家族の身体的・精神的負担を減らす取組」が57.7%で最も多く、その他の要介護度では「できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり」が最も多くなっている。

第2章 利用者調査結果の詳細

○認知症の方に対する重点的施策／被介護者の年齢別、被介護者の要介護度別、主介護者の年齢別

	調査数 （件）	できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり	家族の身体的・精神的負担を減らす取組	認知症の人が利用できる介護施設の充実	認知症のことを相談できる窓口・体制の充実	家族の仕事と介護の両立を支援するために、経済的負担を減らす取組	認知症への正しい知識と理解を促すための啓発・情報提供	認知症の人を地域で見守る体制の充実	認知症であっても、地域、社会に関わっていただける場づくり	日常生活の中で必要となる財産管理などへの支援の充実	その他
全 体	2071	47.6	45.1	43.0	42.7	31.9	28.7	23.1	22.6	14.9	2.6
被介護者の年齢別											
40～64歳	72	55.6	58.3	52.8	45.8	44.4	30.6	23.6	25.0	23.6	2.8
65～74歳	163	52.1	45.4	38.7	45.4	32.5	28.2	22.7	21.5	14.7	3.1
75～84歳	734	46.2	43.7	42.8	39.6	32.0	27.7	23.2	24.0	13.6	1.8
85歳以上	1043	47.1	44.5	43.4	44.1	31.1	29.2	23.1	21.9	15.1	3.1
被介護者の要介護度別											
軽度	1046	45.0	39.6	41.0	42.9	27.9	29.4	23.0	24.0	13.5	2.5
中度	584	51.2	49.1	46.6	44.3	36.5	27.6	23.1	22.8	17.1	1.9
重度	274	54.7	57.7	46.7	39.4	40.9	29.9	23.7	21.2	16.1	4.4
わからない	60	35.0	41.7	40.0	41.7	25.0	26.7	25.0	18.3	13.3	3.3
主介護者の年齢別											
29歳以下	4	100.0	25.0	75.0	25.0	50.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0
30～60代	395	59.2	51.6	51.4	42.0	46.6	29.9	25.6	22.5	18.0	3.5
70代以上	273	48.4	45.8	42.5	39.9	20.9	26.0	21.6	19.8	14.3	1.8
わからない	19	31.6	21.1	42.1	26.3	10.5	21.1	5.3	21.1	5.3	0.0
	調査数 （件）	わからない	無回答								
全 体	2071	4.6	12.5								
被介護者の年齢別											
40～64歳	72	1.4	4.2								
65～74歳	163	6.1	11.7								
75～84歳	734	6.3	11.9								
85歳以上	1043	3.5	13.9								
被介護者の要介護度別											
軽度	1046	4.8	15.8								
中度	584	4.5	7.7								
重度	274	1.8	7.7								
わからない	60	10.0	16.7								
主介護者の年齢別											
29歳以下	4	0.0	0.0								
30～60代	395	2.3	4.3								
70代以上	273	6.2	8.1								
わからない	19	15.8	26.3								

5. 利用者調査結果の概要

ここでは、第2章の調査結果の詳細に記載されている各設問の単純集計コメントと特に注目したいクロス集計コメントを中心に掲載している。

【回答者の属性】

- ・調査票の回答者は、「あなた本人」が65.7%、「主な介護者となっている家族・親族」が35.7%となっている。
- ・性別は、「男性」が36.0%、「女性」が60.6%となっている。
- ・年齢は、「85～89歳」が25.9%で最も多く、次いで「80～84歳」が22.6%、「90～94歳」が19.5%、「75～79歳」が12.8%となっている。
- ・介護度は、「要支援1」が32.3%で最も多く、次いで「要介護1」が19.0%、「要支援2」が18.2%となっている。
- ・居住地区は、「鶴沼」が14.1%で最も多く、次いで「藤沢」が11.3%、「辻堂」が9.9%となっている。
- ・世帯構成は、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が29.9%と最も多く、次いで「ひとり暮らし」が25.4%、「子と同居」が20.0%となっている。

【介護・介助の状況、身体の状況等：問6～8】

- ・経済的な暮らしの状況は、「ふつう」が55.0%と最も多く、次いで「やや苦しい」が24.6%となっている。合計した数値でみると、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた＜苦しい＞割合が34.6%、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」を合わせた＜ゆとりがある＞割合が7.0%となっている。
- ・現在治療中、または後遺症のある病気は、「高血圧」が42.5%と最も多く、以下「目の病気」が18.2%、「心臓病」が16.3%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症等）」が16.0%となっている。
- ・かかりつけの医師は「いる」が91.6%、かかりつけの歯科医師は「いる」が62.1%、かかりつけの薬剤師・薬局は「ある」が77.7%となっている。

【介護保険サービスの利用：問9～17】

- ・介護保険サービスは「利用した」が69.6%となっている。
- ・介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が48.6%で最も多く、次いで「病院への通院など、医療やリハビリを受けている」が24.9%、「家族などが介護をしてくれるため必要ない」が16.8%となっている。
- ・介護サービスの満足度は、「ほぼ満足している」が47.1%で最も多く、次いで「満足している」が32.7%で、これらを合わせた＜満足＞の割合は79.8%となっている。
- ・ケアプランに対する満足度は、「ほぼ満足している」が46.6%で最も多く、次いで「満足している」が31.0%で、これらを合わせた＜満足＞の割合は77.6%となっている。
- ・今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービスは、「移送サービス（福祉タクシー等）」が26.6%で最も多く、次いで「買い物」が21.3%、「掃除・洗濯」が20.6%となっている。
- ・介護保険料の負担感は、「妥当」が32.4%で最も多くなっている。また、「高い」（21.2%）と「やや高い」（26.8%）を合計した＜高い＞の割合は48.0%となっている。

第2章 利用者調査結果の詳細

- ・利用者負担額の負担感は、「妥当」が40.9%で最も多くなっている。また、「高い」(13.9%)と「やや高い」(23.8%)を合計した<高い>の割合は37.7%となっている。
- ・今後の介護保険とサービスのあり方は、「保険料額も介護保険サービス量も、今くらいが妥当である」が48.5%で最も多く、次いで「わからない」が19.9%、「保険料額が高くて、介護保険サービス量が充実している方がよい」が13.3%となっている。

【本人や家族の状況：問18～27】

- ・普段の生活での介護・介助の必要性は、「現在、何らかの介護・介助を受けている」が37.9%で最も多く、次いで「介護・介助は必要ない」が34.2%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が14.9%となっている。
- ・現在、何らかの介護・介助を受けている人の主な介護者の続柄は、「子」が41.7%、「配偶者」が31.1%、「介護サービスのヘルパー」が13.1%となっている。
- ・主な介護者の年齢は、「30代～60代」が54.9%で最も多く、次いで「80歳以上」が20.6%、「70代」が17.4%となっている。
- ・主な介護者の就労状況は、「働いていない」が48.4%で最も多く、次いで「働いている」が42.3%、「わからない」が4.3%となっている。
- ・主な介護者の就労頻度は、「週4日以上」が65.1%で最も多く、次いで「週2～3日以上」が21.7%、「月に数日」が7.2%となっている。
- ・主な介護者の就労形態は、「フルタイム」が53.0%で最も多く、次いで「パートタイム」が33.6%、「その他」が10.9%となっている。
- ・仕事と介護の両立は、「問題はあるが何とか続けていける」が58.2%で最も多く、次いで「問題なく続けていける」が21.7%、「続けていくのは、やや難しい」が10.9%となっている。
- ・仕事と介護の両立に効果的な勤め先からの支援は、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が30.3%で最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が28.3%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が18.4%となっている。
- ・市へ最も望む支援は、「介護者の休息が取れるようなサービスの充実」が23.2%で最も多く、次いで「介護者が相談できる体制の充実」が16.0%、「介護保険外（配食や見守りなど）サービスの充実」が14.6%となっている。

6. 個別考察

（1）家族や生活状況について

回答者の属性では、女性や85歳以上が多く、介護度は要支援1が最も多くなっている。世帯構成では、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」や「ひとり暮らし」が多く、家族による日常的な支援を受けにくい高齢者が一定数いることが推察される。

また、経済的な暮らしで<苦しい>と感じる人が一定数みられるほか、現在治療中又は後遺症のある病気では「高血圧」が最も多い。一方、かかりつけ医師等がいる人は多く、医療と介護の連携を図りながら、生活機能の維持や重度化防止に取り組むことが重要と考えられる。

（2）介護保険サービスについて

介護保険サービスは約7割が利用しており、利用者の介護サービスやケアプランに対する満足度も

約8割と高いことから、現在のサービス提供体制は一定程度評価されていると考えられる。一方、未利用の理由では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も多く、必要な時期に適切な支援へつなげることが重要と考えられる。

また、今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービスでは、移送サービス、買い物、掃除・洗濯など、日常生活を支える支援へのニーズが高くなっている。介護保険サービスへの満足度は高いものの、在宅生活の継続には介護保険サービスだけでは対応できない生活支援のニーズが存在すると考えられる。

（3）本人やご家族の状況について

普段の生活では「現在、何らかの介護・介助を受けている」が最も多く、主な介護者は「子」や「配偶者」が中心となっている。主な介護者の年齢をみると、70代以上も一定数を占めており、家族介護や老老介護が在宅生活を支えている状況が推察される。

また、主な介護者の4割以上が就労しており、就労頻度は週4日以上、就労形態はフルタイムが多い。仕事と介護の両立では「問題はあるが何とか続けていける」が最も多く、市へ望む支援として介護者の休息や相談体制の充実が求められていることから、本人支援とあわせて家族介護者を支える取組の充実が重要と考えられる。

（4）認知症施策について

本人又は家族に認知症の症状がある人は全体の約3割と前回調査より減少しているものの、要介護度が中度・重度になるほど割合が高くなる傾向があることから、認知症への対応は在宅生活の継続や家族介護者の負担軽減において重要な課題となっている。

認知症に関する相談窓口の認知度は前回調査より上昇しているものの、「いいえ」が過半数を占めており、相談先が十分に浸透しているとはいえない。また、重点的に取り組むべき施策としては、早い段階から医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり、家族の身体的・精神的負担を減らす取組、相談窓口・体制の充実などが上位となっている。このため、相談体制の周知を強化するとともに、家族介護者への支援、地域での見守り、必要なサービス利用につなげる切れ目のない支援体制の充実が重要と考えられる。

7. 全体考察

利用者本人の状況をみると、85歳以上の高齢者や要支援1の割合が高く、比較的軽度の段階にある高齢者が多い一方、ひとり暮らしや高齢夫婦のみ世帯など、日常的な支援を受けにくい世帯も一定数存在している。経済的な負担感や疾病を抱える人もみられ、医療と介護の連携を図りながら、生活機能の維持や重度化防止に向けた支援が重要と考えられる。

また、介護保険サービスについては、利用率や満足度は高く、現在のサービス提供体制は一定程度評価されているが、在宅生活の継続に必要な支援として、移送サービス、買い物、掃除・洗濯などの生活支援ニーズが高く、介護保険サービスだけでは対応できない支援ニーズがみられる。

さらに、在宅生活は家族介護に支えられている面が大きく、老老介護や仕事と介護の両立に課題を抱える世帯もみられる。認知症に関する相談窓口の認知度も十分とはいえないことから、本人への支援と家族介護者への支援を一体的に進めることが重要と考えられる。

8. 必要と考えられる支援・改善すべきサービス

在宅生活の継続に向けては、軽度の段階から生活機能の維持や重度化防止に取り組むとともに、移送サービス、買い物、掃除・洗濯など、日常生活を支える生活支援サービスの充実が必要と考えられる。

また、家族介護者の休息確保や相談体制の充実を図り、本人と家族を一体的に支える体制づくりが重要である。さらに、認知症に関する相談窓口の周知を強化し、早期相談・早期支援につなげる仕組みや地域での見守り体制の構築が求められる。

資料編 利用者調査票

藤 沢 市 介護保険サービス利用状況調査

ご協力をお願い

2026年(令和8年)4月に介護保険制度は27年目を迎えます。藤沢市では、制度の運営にあたり、要介護・要支援認定を受けられた方の介護保険サービスの利用実態を把握し、今後の介護保険制度の運営及び介護保険事業計画の改訂に向け、適切な対応を図ってまいりたいと考えております。

そこで、介護保険サービスについての利用状況調査を実施することにいたしました。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、ご協力をお願い申し上げます。

2025年(令和7年)10月

藤沢市長 鈴木恒夫

注意事項-アンケートの記入に際して-

- 1 このアンケート調査の対象者は、**2025年(令和7年)9月1日時点**において、要介護・要支援認定を受けている方の中から、無作為に抽出した約3,000人の方々です。
- 2 この調査は、宛名のご本人様と、その主な介護者の方にお答えをお願いするものです。
宛名のご本人様は 1～4 ページ(問1～17)、主な介護者の方は 5～7 ページ(問 18～30)について、ご回答ください。
- 3 お答えは、当てはまる回答番号に指定された数だけ〇印をしてください。また、「その他()」と回答される場合には、()の中に具体的にその内容をご記入ください。
- 4 1ページから最後まで、質問順にお答えください。また、※の指示に注意してご記入ください。
- 5 調査対象者ご本人様の状況により、回答が難しい項目については、無回答(空欄)でかまいません。
- 6 質問中「訪問看護」などの各サービス名称は、要支援1及び要支援2の方については「介護予防訪問看護」、「訪問介護」は「介護予防訪問型サービス」(介護予防・日常生活支援総合事業)など、介護予防を目的としたサービス名を含みます。
- 7 提出期限:**10月31日(金)まで**に同封の返信用封筒に入れてポストにご投函ください。ご返送いただく際には、無記名でかまいません。

なお、本調査の回答は統計的に処理するもので、調査の目的以外の使用や個人にご迷惑をおかけすることはありません。

★この調査についてご不明な点がございましたら、介護保険課にお問い合わせください。

藤沢市 福祉部 介護保険課 電話 50-8270(直通)

FAX 50-8443

※ この調査票は、宛名のご本人様(あなた)の状況をお聞きするものです。

質問中の「あなた本人」とは、要介護・要支援認定を受けている調査対象者の方を指します。

あなたやご家族の状況について、おたずねします。

問1 現在、この調査票にご回答をいただいているのは、どなたですか。(複数回答可)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. あなた本人 | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. その他 |

問2① あなた本人の性別についてご回答ください。(1つだけ○印)

- | | | | |
|-------|-------|--------|----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 | 4. 回答しない |
|-------|-------|--------|----------|

② あなた本人の年齢は何歳ですか(令和7年10月1日時点の満年齢)。(1つだけ○印)

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 40～64 歳 | 2. 65～69 歳 | 3. 70～74 歳 | 4. 75～79 歳 |
| 5. 80～84 歳 | 6. 85～89 歳 | 7. 90～94 歳 | 8. 95～99 歳 |
| 9. 100 歳以上 | | | |

問3 あなた本人が現在認定されている介護度をご回答ください。(1つだけ○印)

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 要支援 1 | 2. 要支援 2 | 3. 要介護 1 | 4. 要介護 2 |
| 5. 要介護 3 | 6. 要介護 4 | 7. 要介護 5 | 8. わからない |

問4 あなた本人のお住まいの地区についてご回答ください。(1つだけ○印)

- | | | | | |
|--------|--------|---------|-----------|---------|
| 1. 片瀬 | 2. 鵜沼 | 3. 辻堂 | 4. 村岡 | 5. 藤沢 |
| 6. 明治 | 7. 善行 | 8. 湘南大庭 | 9. 六会 | 10. 湘南台 |
| 11. 遠藤 | 12. 長後 | 13. 御所見 | 14. わからない | |

問5 あなた本人は、どなたと一緒に暮らしていますか。(1つだけ○印)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 夫婦 2 人暮らし(配偶者 65 歳以上) |
| 3. 夫婦 2 人暮らし(配偶者 64 歳以下) | 4. 子と同居 |
| 5. 子ども夫婦との 2 世帯 | 6. 兄弟や姉妹 |
| 7. その他 () | |

問6 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ○印)

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

問7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(複数回答可)

1. なし	2. 高血圧
3. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	4. 心臓病
5. 糖尿病	6. 高脂血症（脂質異常）
7. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気	10. 筋骨格の病気（骨粗しょう症等）
11. 外傷（転倒・骨折等）	12. がん（悪性新生物）
13. 血液・免疫の病気	14. うつ病
15. 認知症（アルツハイマー病等）	16. パーキンソン病
17. 目の病気	18. 耳の病気
19. その他（	）

問8 特定のかかりつけの医師や歯科医師、薬局がありますか。(それぞれ1つに○印)

(1) かかりつけの医師	1. いる	2. いない
(2) かかりつけの歯科医師	1. いる	2. いない
(3) かかりつけの薬剤師・薬局	1. ある	2. ない

※『かかりつけの医師』とは、日常的な診療の他にも、健康相談等、日頃からなんでも気軽に相談ができ、いざというときには専門医を紹介してくれる住まいの近くにいる医師のことです。

介護保険サービスについて、おたずねします。
問9 令和7年9月の1か月の間に、介護保険サービスを利用しましたか。(1つだけ○印)

1. 利用した	→ 問11へ
2. 利用していない	

問10 《問9で「2. 利用していない」と回答した方のみ》

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数回答可)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	2. 家族などが介護をしてくれるため必要ない
3. 病院など医療機関に入院している	4. 病院への通院など、医療やリハビリを受けている
5. 介護保険外のサービスで足りている	6. 以前、利用していたサービスに不満があった
7. 利用したいサービスが利用できない、身近にない	8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. 利用料を支払うのが難しい	10. 他人(サービス事業者)を自宅に入れたくない
11. その他（	）

→ **回答後、問14へ**

問11 《問9で「1. 利用した」と回答した方のみ》

以下の A～K までの介護保険サービスについて、令和7年9月の1か月間の利用状況をご回答ください。(それぞれ1つに○印)

	1 か月あたりの利用回数 (それぞれ1つに○印)					
	1. 利用していない	2. 週1回程度	3. 週2回程度	4. 週3回程度	5. 週4回程度	6. 週5回以上
(回答例)	1	2	3	4	5	6
A. 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	1	2	3	4	5	6
B. 訪問入浴介護	1	2	3	4	5	6
C. 訪問看護	1	2	3	4	5	6
D. 訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5	6
E. 通所介護 (デイサービス)	1	2	3	4	5	6
F. 通所リハビリテーション	1	2	3	4	5	6
G. 小規模多機能型 居宅介護	1	2	3	4	5	6
H. 看護小規模多機能型 居宅介護	1	2	3	4	5	6
I. 夜間対応型訪問介護 (※訪問のあった回数を回答)	1	2	3	4	5	6
J. 定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	1	2	3	4	5	6
K. 福祉用具貸与	1	2	3	4	5	6

問12 《問9で「1. 利用した」と回答した方のみ》

介護サービスの満足度についてどのように感じていますか。(1つだけ○印)

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1. 満足している | 2. ほぼ満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. やや不満である | 5. 不満である | |

問13 《問9で「1. 利用した」と回答した方のみ》

ケアプランに対する満足度についてどのように感じていますか。(1つだけ○印)

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1. 満足している | 2. ほぼ満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. やや不満である | 5. 不満である | |

問14 今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービスをご回答ください。(複数回答可)

1. 配食	2. 調理
3. 掃除・洗濯	4. 買い物
5. ゴミ出し	6. 外出同行（通院など）
7. 移送サービス(福祉タクシー等)	8. 見守り、声かけ（ボランティア等）
9. サロンなどの定期的な通いの場	
10. その他（	）
11. 特にない	

問15 現在の暮らしの状況からみて、あなた本人が支払っている介護保険料額について、どのように思いますか。(1つだけ○印)

1. 高い	2. やや高い	3. 妥当
4. やや安い	5. 安い	6. わからない

<参考> 保険料基準月額 藤沢市 6,300 円
 神奈川県平均 6,340 円
 全国平均 6,225 円

問16 現在の暮らしの状況からみて、あなた本人が支払っている利用者負担額について、どのように思いますか。(1つだけ○印)

1. 高い	2. やや高い	3. 妥当
4. やや安い	5. 安い	6. わからない・払っていない

問17 介護保険サービスの財源は、その一部が保険料で賄われているため、介護保険施設等の整備によりサービス提供量が増えると保険料が高くなる仕組みになっています。今後の保険とサービスのあり方について、あなたの考えに近いものをご回答ください。(1つだけ○印)

1. 保険料額が高くても、介護保険サービス量が充実している方がよい
2. 保険料額も介護保険サービス量も、今くらいが妥当である
3. 介護保険サービス量の充実は無くてもよいので、保険料額は低い方がよい
4. その他（
5. わからない

※ここからは「主な介護者」の方がご回答ください。「主な介護者」の方のご記入が難しい場合は、ご本人様(あなた)がわかる範囲で、ご回答・ご記入をお願いいたします。

あなたやご家族の状況について、おたずねします。

問18 あなた本人は、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つだけ○印)

1. 介護・介助は必要ない

→ 問28へ

2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない

3. 現在、何らかの介護・介助を受けている

→問19 《問18で「3. 現在、何らかの介護・介助を受けている」に回答した方のみ》

主な介護者をご回答ください。(1つだけ○印)

1. 配偶者

2. 子

3. 子の配偶者

4. 孫

5. あなたの兄弟・姉妹

6. 介護サービスのヘルパー

7. その他 (

) → 問28へ

→問20 《問19で「1.～6.」と回答した方のみ》

主な介護者の方の年齢をご回答ください(令和7年10月1日時点の満年齢)。

(1つだけ○印)

1. 18歳未満

2. 18歳以上～29歳以下

3. 30代～60代

4. 70代

5. 80歳以上

6. わからない

→問21 《問19で「1.～6.」と回答した方のみ》

介護者の就労状況についてご回答ください。(1つだけ○印)

1. 働いている

2. 働いていない

3. わからない

→ 問26へ

→問22 《問21で「1. 働いている」と回答した方のみ》

就労頻度をご回答ください。(1つだけ○印)

1. 週4日以上

2. 週2～3日以上

3. 月に数日

→問23 《問21で「1. 働いている」と回答した方のみ》

就労形態をご回答ください。(1つだけ○印)

1. フルタイム

2. パートタイム

3. その他 ()

問24 《問21で「1.働いている」と回答した方のみ》

仕事と介護の両立についてご回答ください。(1つだけ○印)

1. 問題なく続けている 2. 問題はあるが何とか続けている
3. 続けていくのは、やや難しい 4. 続けていくのは、かなり難しい

問25 《問21で「1.働いている」と回答した方のみ》

仕事と介護の両立に効果的な勤め先からの支援についてご回答ください。
(複数回答可)

1. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
2. 介護をしている従業員への経済的な支援
3. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
4. 制度を利用しやすい職場づくり
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
6. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. その他（
9. 特になし

問26 主な介護者の方が、市へ最も望む支援は何ですか。(1つだけ○印)

1. 介護者の休息が取れるようなサービスの充実
2. 介護者が相談できる体制の充実
3. 介護者が悩み等を話せる交流の場の充実
4. 家族介護教室などの介護技術を学ぶ場の充実
5. 介護者に対する地域や職場の理解の促進
6. 介護保険外（配食や見守りなど）サービスの充実
7. その他（
8. 特にない

問27 主な介護者の方から、本市の介護保険行政に対して、ご意見・ご要望があれば、どのようなことでもかまいませんので、ご自由にご記入ください。

認知症施策について、おたずねします。

問28 あなた本人に認知症の症状がある、又は、家族に認知症の症状がある人がいますか。
(1つだけ○印)

1. はい

2. いいえ

問29 主な介護者の方は認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ○印)

1. はい

2. いいえ

問30 今後、増加が予想される認知症の方への取組として、市はどのような施策に重点を置くべきだと思いますか。(複数回答可)

1. 認知症への正しい知識と理解をもってもらうための啓発・情報提供
2. 認知症のことを相談できる窓口・体制の充実
3. できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり
4. 家族の身体的・精神的負担を減らす取組
5. 家族の仕事と介護の両立支援などを含めた、経済的負担を減らす取組
6. 認知症の人を地域で見守る体制の充実
7. 認知症であっても、地域、社会に関わっていける場づくり
8. 日常生活の中で必要となる財産管理などへの支援の充実
9. 認知症の人が利用できる介護施設の充実
10. その他 ()
11. わからない

ありがとうございました。質問は以上で終わりです。

10月31日(金)までに同封の返信用封筒に入れて、
ポストにご投函ください。

藤沢市介護保険サービス利用者調査報告書

発行：令和８年３月

藤沢市 福祉部 介護保険課
〒251-8601 藤沢市朝日町１番地の１
TEL：0466(25)1111（代表）